

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 元年 (1989)	2・7	ひとり暮らし老人を対象に緊急通報システムを導入。		<秋田県>
	2・19	町長選挙執行。第10代町長に佐藤邦夫氏が当選。投票率は93.42%。	3・30	北緯40度シーズナルリゾートあきたを国が承認。
	3・17	平成元年度当初予算決定。(一般会計41億100万円)	4・1	秋田相互銀行が普通銀行「秋田あけぼの銀行」に改称。
	4・1	役場開庁方式による4週6休を試行。	8・21	全国高校野球選手権大会(甲子園)で秋田経法大附高が4強。
	4・3	第11代助役に菊地耕二氏を選任。	<国内外>	
	4・14	秋田駅前アゴラ広場で五城目朝市を開催。(～18日)	1・7	十二指腸乳頭周囲腫瘍のため、昭和天皇が崩御。
	4・24	町花いっぱい運動推進委員会を設立。(阿部三郎会長)	1・8	「平成元年」がスタート。
	5・1	町中央公民館長に大石成雄氏が選任。	6・2	竹下内閣が総辞職。
	5・26	町総合防災訓練に千代田区から職員が応援に駆けつけ、1,000人分の救援物資などを配布。	6・24	歌手の美空ひばりさんが死去。
	6・27	町公共下水道計画第1期分が国から認可。	7・23	第15回参議院議員選挙執行。
	7・16	第5回東北親善川柳大会を本町で開催。	8・9	宇野内閣が総辞職。
	7・29	第6回全国少年レスリング選手権大会で本町のチビッコレスラー3人が優勝。	9・1	海部・ブッシュ日米首脳会談。
	7・30	町壮年集団世話人会が結成。第1回壮年のつどいを開催。五城目小の工藤聡さんがわんぱく相撲全国大会5年生の部で優勝。	9・29	横綱千代の富士が国民栄誉賞を受賞。
	8・1	森林資料館「五城目城」で八木下弘写真展を開催。平成元年産米政府買入れ価格決定。(60kg当たり1万6,743円)		
	8・3	木村茂千代田区長が町を公式訪問。(～5日)水不足緊急対策本部を役場内に設置。		
	8・17	元卓球世界チャンピオンの江加良さん(中国)の卓球教室を開催。		
	8・20	第8回東北学童相撲大会で五城目小が団体優勝。個人でも畑沢聖さん(五城目小)が優勝。		
	8・21	まちおこし町民100人会議の第1回会合を開催。		
	8・25	町誘致企業、秋田部品五城目工場が操業開始。		
	9・4	町誘致企業、エドウィン秋田ホーセ大川工場が操業開始。		
	9・26	第10代収入役に加藤千雄氏を選任。		
	9・29	ふるさと創生1億円の活用方法が決定。(創生基金に8千万円、構想策定コンサルタント委託料に2千万円)		
	9・30	第25回全国身体障害者スポーツ大会で本町の代表者が銀、銅メダルを獲得。		
10・26	千代田区と本町との姉妹都市提携調印式が千代田区議場で開催。 最低賃金 1日3,535円、1時間446円			
11・3	町功労者 加賀谷正作氏(産業)、石井良司氏(民生)、伊藤卓治氏(自治、文化)、工藤孝二氏(自治、産業)、二方シワ氏(民生)			
11・17	ふるさと五城目会設立総会を千代田区九段会館で開催。 ※町総合発展計画第2次5か年実施計画を策定。			



平成元年10月26日、千代田区との姉妹都市提携調印式



昭和63年に始まり、現在も続くきやどっこまつり

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 2年 (1990)	1・25	まちおこし100人会議が佐藤町長に建議書を提出。		<秋田県>
	2・23	町収入役の加藤千雄氏が逝去。	2・2	あきたスカイドームが完成。
	3・17	平成2年度当初予算決定。(一般会計44億8,500万円)	3・26	金足農高と秋田経法大附高が全国選抜高校野球大会に出場。県2校は東北初。
	3・31	新しい斎場が完成。		
	3	全国でも珍しい秋田杉の集成材を使用した「湯ノ又橋」が完成。	5・15	ミネソタ州立大学機構秋田校が開学。
	4・1	役場開庁方式による4週6休を実施。 水道料金の自動振替を実施。 過疎地域活性化特別措置法の過疎地域に指定。 第22代町議会議長に小玉哲郎氏、副議長に齊藤明氏就任。	7・8	県護国神社が全焼。
	4・10	町総合生きがいセンターが開館。	2・18	<国内外> 第39回衆議院議員選挙執行。
	5・3	北日本少年レスリング大会で本町関係の3人が優勝。	3・9	社会党委員長選挙で土井たか子氏が無投票3選。
	5・18	開かれた町政を目指し「町政座談会」がスタート。	3・15	ソ連初の大統領にゴルバチョフ最高会議議長が就任。
	5・20	五城目ロータリークラブ創立25周年記念式典が開催。	10・3	東西ドイツが統一。
	6・1	町誘致企業、大久工業(株)五城目工場が操業開始。	11・22	天皇即位に伴う大嘗宮の儀が行われる。
	6・16	五城目営林署設置100周年記念祝賀会が開催。	12・2	秋山豊寛さんが日本人初の宇宙飛行を実現。
	6・17	東北弓道大会で弓道矢場崎クラブが初優勝。	12・29	第2次海部改造内閣が成立。
	7・1	第1回森鈴旗争奪秋田追分全国大会を開催。(優勝 伊藤正蔵さん、十文字町)		
	7・27	平成2年産米政府買入れ価格決定。(60粍当たり1万6,500円)		
	8・6	杉沢小緑の少年団が県代表として全国大会に参加。		
	8・18	五城目天翔太鼓が初舞台。(子どもの祭典、馬城橋特設会場)		
	8・19	伊藤俊彦さん(五城目小)が県小学校水泳競技大会50m自由形で27秒77の東北学童新記録を樹立。		
	9・9	あきた湖東青年会議所創立総会が開催。		
	9・10	中山遺跡の発掘調査を実施。(～10月9日)日本最古と思われる「弯弓」などが出土。		
	9・21	町過疎地域活性化計画を策定。(前期5年分)		
	9・28	悠紀斎田で「抜穂の儀」が行われる。(大田主 伊藤容一郎さん、石崎)		
	10・1	国勢調査実施。(人口1万4,161人、世帯数3,885世帯)		
	10・10	五城目大物産展を秋田市長崎屋で開催。(～15日)		
	10・12	最低賃金 1日3,738円、1時間468円		
	10・19	町商工会創立30周年記念式典が開催。		
	10・28	町農協合併設立25周年記念式典が開催。		
10・29	五城目幼稚園創立40周年記念式典を開催。			
11・3	躍進町35周年記念式典を開催。 町功労者 工藤松太郎氏(美事善行、福祉)、三浦清三郎氏(自治、学術文化)、佐藤忠四氏(教育)、武田新市氏(民生、産業)			




町内会で町政座談会を開催



中山遺跡発掘調査



平成2年9月28日、悠紀斎田抜穂の儀

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
平成 3年 (1991)	3	平成3年度当初予算決定。(一般会計47億5,400万円)		<秋田県>	
	4・30	馬場目地区文化交流センター(ふれあいセンター)と馬場目保育園の竣工式を実施。	4・7	県知事佐々木喜久治氏が4選。	
	5・27	養護老人ホーム森山荘の竣工式を実施。	5・22	県立農業科学館が大曲市に完成。	
	7・1	第3子以降の保育料を無料化。	7・25	秋田自動車道横手、秋田間が開通。	
	7・26	平成3年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,392円)	1・17	<国内外> 湾岸戦争に突入。	
	9・6	町ごみ対策懇談会がスタート。	4・16	ゴルパチョフソ連大統領が来日。 ソ連最高首脳では初。	
	9・28	台風第19号で大きな被害。(被害総額約9億円)	6・3	長崎県雲仙岳が噴火。	
	10・1	町内公共施設の使用料などに3分の消費税を課税。	11・5	海部内閣が総辞職。宮沢内閣が成立。	
	11・3	町功労者 安東誠氏(保健衛生、文化)、長谷川定作氏(産業)、小熊久孝氏(自治、福祉)			
	12・20	森山地区公民館が完成。			
					
				大きな被害をもたらした 台風第19号	
平成 4年 (1992)	1	町役場で第2、4土曜日を休日とする、土曜閉庁方式の4週6休を実施。		<秋田県>	
	1・20	コンピューターによる住民票の発行をスタート。	3・13	秋田、盛岡間のミニ新幹線化事業に着手。	
	3・6	中山遺跡の出土品30点が県有形指定文化財に。	4・1	農協の呼称が「JA」に。	
	3	平成4年度当初予算決定。(一般会計49億3,500万円)	8・26	皇太子殿下を迎え、第4回全国農業青年交歓大会が開幕。	
	3・29	町議会議員選挙執行。現職17人、新人5人の22人が当選。投票率は91.05%。	9・1	ハタハタの3年間全面禁漁が決定。	
	4・1	町で実施するすべての検診が無料に。		<国内外>	
	4・4	杉沢小・中が新校舎で新学期をスタート。	3・1	暴力団対策法が施行。	
	4・7	第23代町議会議長に佐藤成孝氏、副議長に館岡幸雄氏就任。	6・15	PKO法が成立。	
	5・20	屋内ゲートボール場「すぱーく五城目」が完成。	7・1	山形新幹線が開業。	
	6・20	市神祭が開催。(～21日)上町通りで30年ぶりの朝市。	7・26	第16回参議院議員選挙執行。	
	7・17	平成4年産米政府買入れ価格決定。(60粳当たり1万6,392円)	10・14	佐川急便事件で金丸前自民党副総裁が議員辞職。	
	9・12	学校週5日制がスタート。第2土曜日が休日。	10・23	天皇陛下が初の中国訪問。	
		12・11	宮沢改造内閣が成立。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 6年 (1994)	10・16	第1回朝市500年記念マラソン大会を開催。		
	11・3	町功労者 今村方介氏(自治、産業経済)、佐々木吉三郎氏(自治、産業)		
	11・15	1日課長制度を実施。		
	12・16	町過疎地域活性化計画の後期計画を策定。		
				
		<p>平成6年から始まった 朝市500年記念マラソン大会</p>		
平成 7年 (1995)	1・13	農村総合整備モデル事業の竣工式を実施。(総事業費22億2,700万円)		
	3・14	平成7年度当初予算決定。(一般会計53億5,600万円)	4・9	<秋田県> 県知事佐々木喜久治氏が5選。
	3・17	日本海沿岸東北自動車道の昭和、琴丘間中心杭杭打式が実施。	9・4	県の食料費、旅費問題に対する内部調査結果を公表。
	3・29	五城目都市計画事業磯ノ目地区土地区画整理事業が完成。	10・1	ハタハタ漁を3年ぶりに解禁。
	4・2	総合交流センター「五城館」がオープン。矢田津世子文学記念室を公開。	10・25	水稲作況指数が全国最低の「91」不良と発表。
	4・3	やまゆり会特別養護老人ホーム「広青苑」、ケアハウス「いこいの里」がオープン。	12・1	井川さくら駅が開業。
	5・20	朝市500年祭春まつりを開催。	12・7	12月県議会で平成6年度決算を不認定。
	6・25	「環境と文化のむら」がオープン。		<国内外>
	6	一般廃棄物埋立処分場建設予定地が兎品沢に決定。	1・17	阪神淡路大震災が発生。(M7.2、死者約6,300人)
	7・14	平成7年産米政府買入れ価格決定。(60畝当たり1万6,392円)	3・20	東京地下鉄サリン事件が発生。(死者12人、重軽傷者5,000人超)
	7・21	第3回全国やまゆりサミットin五城目'95を開催。	5・16	オウム真理教の麻原彰晃代表が逮捕。
	8・4	栃木県南河内町の小学生が杉沢地区で短期山村留学。(～8日)	6・2	野茂英雄投手が大リーグで初勝利。
	8・15	朝市500年祭夏まつり、きゃどっこまつり'95を開催。(～16日)	7・23	第17回参議院議員選挙執行。
	8・24	馬場目ダム建設促進期成同盟会を設立。	10・30	オウム真理教に解散命令。
	9・6	町消防団第7分団が県消防操法大会で優勝。	11・1	新食糧法が施行。
	9・29	秋田チョー・オユー登山隊(本町出身・伊藤清春さん、沢田石順さん)が県人隊として初めて8,000m峰への登頂を果たす。	11・23	パソコンソフト・ウインドウズ95が発売。
	10・1	国勢調査実施。(人口13,371人、世帯数3,867世帯)	12・8	動燃の高速増殖炉「もんじゅ」で液体ナトリウム漏れ事故が発生。
	10・22	朝市500年祭秋まつり、朝市サミットを開催。		
	11・3	町合併40周年記念式典を開催。 町功労者 石川誠一郎氏(自治)、笹川兼吉氏(自治、産業)、新谷秋蔵氏(自治、産業)、佐藤幸氏(産業)、畑澤一視氏(民生)		

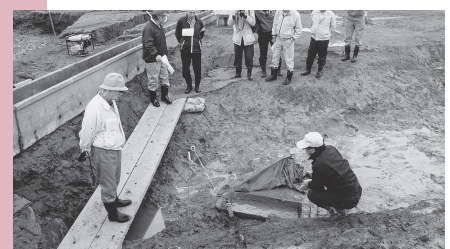
年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
		 <p>平成7年10月22日、朝市500年記念碑の除幕</p>		 <p>郷土の心を演奏する五城目天翔太鼓</p>
平成8年(1996)	2・10	朝市500年祭冬まつりを開催。朝市500年祭を締めくくる。		
	2	行政改革大綱をまとめる。	3・11	<秋田県> 県の食料費・旅費の不適合執行額が8億1,900万円。
	3・8	平成8年度当初予算決定。(一般会計51億4,400万円)	3・30	秋田新幹線工事のためJR田沢湖線が全面運休。
	3・10	分銅惇作氏、木村敬三氏をふるさと大賞として表彰。	5・2	平成19年秋田国体の会場に46市町村が決定。
	3・24	町議会議員選挙執行。現職16人、前職1人、新人5人の22人が当選。投票率は90.90%。	6・20	県立大学の秋田市、本荘市分離設置が正式決定。
	4・1	行政改革大綱、定住促進制度がスタート。	9・20	食料費問題の政治責任をめぐり、県議会が初となる知事の辞職を求める動議を提出。
	4・4	第25代町議会議長に伊藤浩司氏、副議長に猿田和男氏就任。		<国内外>
	4・29	環境と文化の村内にフィールドアスレチックコースがオープン。	1・11	橋本内閣が成立。
	5・1	上町商店会と下町商店会が統合し五城目商店会を結成。	1・19	社会党が社会民主党に改称。
	5・25	近畿五城目会が発足。	3・19	厚生省が薬害エイズ資料を公表。
	6・24	県道秋田八郎瀧線保呂瀬、杉沢間が完成。	5・31	2002年サッカーワールドカップの日韓共催が決定。
	7・24	三浦真氏らが町で芸術を通し国際交流。	7・3	ウインブルドンテニスで伊達公子選手がベスト4。
	9・21	山内番楽保存会が米ニューヨークのカーネギーホールで公演。	7・20	病原性大腸菌「O-157」の患者が6,000人超、死者7人に。
	10・14	千代田区神田旭町会と町町内会長会との姉妹提携10周年記念式典を開催。	10・20	第41回衆議院議員選挙執行。(小選挙区比例代表並立制に)
	10・27	大川小120周年記念式典を開催。	11・6	携帯電話、PHSが2,000万台を突破。
	10	最低賃金 1日4,526円、1時間566円	12・20	ペルーの日本大使館を左翼ゲリラが襲撃。
	11・3	町功労者 佐々木市太郎氏(自治)、齊藤明氏(自治)、伊藤與四郎氏(自治)		
	11・10	富津内小120周年記念式典を開催。		
	12・26	渡邊彦兵衛商店が「登録文化財」に登録。 ※平成8年産米政府買入れ価格(60kg当たり1万6,392円)		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 9年 (1997)	1・14	湯ノ又簡易水道が完成。		<秋田県>
	2・16	町長選挙執行。第12代町長に佐藤邦夫氏が当選。投票率は90.73%。	3・3	佐々木知事が3月31日付けでの辞職申出書を県議会議長に提出。
	2・24	第26代町議会議長に石井孫一氏就任。	3・22	秋田新幹線が開業。
	3・11	平成9年度当初予算決定。(一般会計59億9,000万円)	4・20	秋田県知事に寺田典城氏が当選。
	3・15	町観光協会30周年記念式典が開催。	7・11	大館樹海ドームが完成。
	3	町児童育成計画「エンゼルプラン」を策定。	7・23	秋田自動車道湯田、北上西間が開通。
	4・1	湖東総合病院訪問看護ステーションが開設。		
	4・29	ターミナルパーク磯ノ目がオープン。	10・1	天皇皇后両陛下がご来県。
	7・1	行政手続条例を施行。	12・2	知事が秋田県木材住宅に、破産法に基づく精算を通告。
	8・12	第13代助役に畑澤達雄氏、第12代収入役に小林博實氏を選任。		<国内外>
	9・13	土橋傑さんが国体カヌー競技で第3位に入賞。	4・1	消費税が5%に。
	9・26	今村久悦氏をふるさと大賞として表彰。	7・1	香港が1世紀ぶりに中国に返還。
	10・2	最低賃金 1日4,629円、1時間579円	8・31	ダイアナ元英国皇太子妃が交通事故死。
	10・26	五城目一中創立50周年記念式典を開催。		
	11・2	杉沢小創立110周年、杉沢中創立50周年記念式典を開催。	11・16	サッカーワールドカップフランス大会に日本の出場が決定。
	11・3	町功労者 菊地耕二氏(自治、産業、福祉)		
	11・13	秋田朝日放送の電波を薬師山から発信開始。 秋田自動車道昭和男鹿半島インターチェンジが開通。		
	11・30	五城目婦人会50周年式典を開催。		
	12・13	国道285号山内バイパスが暫定供用開始。 ※平成9年産米政府買入れ価格。 (60kg当たり1万6,217円)		
				
		五城目神明社神楽殿で行われている 番楽競演会		
平成 10年 (1998)	1・11	町青年会OB会の結成総会が開催。		<秋田県>
	3・2	馬場目小学校舎と体育館の改築に着工。	2・26	県木住と秋住に破産宣告。
	3・18	平成10年度当初予算決定。(一般会計53億1,500万円)	3・13	旧秋田空港跡地に風力発電施設が完成。
	3・31	国道7号と同285号を結ぶふるさと農道が完成。(大川、上樋口間)	4・1	副知事に坂東久美子氏が就任。
	4・1	五城目町、井川町、飯田川町、昭和町の4JAが合併し「あきた湖東農業協同組合」が発足。 秋田中央保健所が業務開始。秋田保健所五城目支所は業務終了。	7・18	あきた北空港が開港。
	4・9	第27代町議会議長に石井孫一氏、副議長に猿田和男氏就任。	8・3	森吉町で日本ジャンボリーが開幕。
	4・10	第1回新規学卒者合同入社式を開催。	12・22	県立大学の設置が認可。
	4・23	一般廃棄物埋立処分場が完成。	12・28	能代工高バスケットボール部が全国大会優勝50回を達成。
	5・1	広報ごじょうめで再生紙の使用を開始。		<国内外>
	5・8	よつば会共同作業所が開所。	2・7	長野冬季オリンピックが開幕。
	5・25	町ポイントカード会がポイントカード事業「ごっくんカード」をスタート。	2・22	郵便番号が7けたに。
			5・27	大関若乃花(2代目)が横綱に昇進。初の兄弟横綱が誕生。
			6・22	金融監督庁が発足。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 10年 (1998)	6・1	日本海沿岸東北自動車道昭和、琴丘間の建設に着工。	6・29	サッカーワールドカップフランス大会が開幕。
	6	伝統工芸技能後継者育成事業をスタート。	7・12	第18回参議院議員選挙執行。
	8・9	大手橋が完成。渡り初めを実施。	7・25	和歌山で毒物カレー事件発生。
	9・1	個人情報保護及び情報公開制度がスタート。	7・30	小淵内閣が成立。
	9・2	広報ごじょうめが全国広報コンクールで入選。	9・27	大リーグでマグワイア選手が年間70本の本塁打。
	10・3	五城目信用金庫創立70周年記念式典が開催。	12・16	米英がイラクの軍事施設などを空襲。
	10	最低賃金 1日4,713円、1時間590円		
	11・3	町功労者 永井慶二郎氏(教育、スポーツ)、松橋勇氏(自治)、小玉哲郎氏(自治)		
	11・8	ふるさと五城目会設立10周年記念式典が開催。		
	12・15	町国土利用計画を改訂。		
	12・18	教育長に小玉康夫氏が就任。		
	12・19	平成19年秋田国体に向け国体レスリング大会準備委員会が設立。 ※平成10年産米政府買入れ価格(60粳当たり1万5,805円)		
	平成 11年 (1999)	3・1	地域振興券を交付。	
3・15		国道285号落合、北村間の改良整備に着手。	4・1	秋田営林局と青森営林局が統合し東北森林管理局が発足。
3・23		平成11年度当初予算決定。(一般会計55億2,000万円)	4・11	県立大学が開学。(新入生375人)
3・29		新おせど会館が完成。	7・9	苫小牧、秋田、新潟、敦賀を結ぶ定期フェリー便が就航。
4・1		五城目幼稚園で4歳児からの2年保育を実施。 杉沢小・中で特認校制度がスタート。 東北森林管理局が発足。五城目営林署が米代西部森林管理署五城目事務所に。 チャイルドシートの購入補助を開始。	10・15	落合博満選手がプロ野球を引退。
4・22		町第1号の救急救命士が誕生。	11・15	浅利純子選手が東京国際女子マラソンで2度目の優勝。
5・1		上山内地区農業集落排水施設が供用開始。		<国内外>
6・18		町議会6月定例会が行政報告と一般質問を終了後、会期切れ(流会)となる。	1・1	欧州単一通貨のユーロが誕生。
7・11		町農業委員会委員選挙執行。 第10回記念秋田追分全国大会を開催。	4・1	改正男女雇用機会均等法がスタート。
8・8		雀館運動公園相撲場が新築。全県相撲大会が開催。	9・30	茨城県東海村で国内初の臨界事故が発生。
8・26		パソコンを使った「コミュニティスクール五城目」がスタート。 広報ごじょうめが全国広報コンクールで入選。	10・5	自自公連立の小淵改造内閣が成立。
8		五城目一中女子柔道部が全国大会で第3位に入賞。	12・20	アジア最後の植民地マカオが中国に返還。
9・11		矢田津世子文学記念室開設5周年記念講演を開催。		
10・1		最低賃金 1日4,757円、1時間595円		
10・16		谷地中の中谷地遺跡を公開。		
10・25		千代田区との姉妹都市提携10周年記念式典を開催。		
10・27		八木下弘氏をふるさと大賞として表彰。		
11・3		町功労者 伊藤準一郎氏(産業)、大石安正氏(産業)、長谷川豊氏(自治)、加藤正松氏(民生)		
11・30		杉沢集会所が完成。		
12・1		大手警察官駐在所が新築移転。		
12・7		町役場町民談話室で町議会本会議の放送を開始。 ※平成11年産米政府買入れ価格(60粳当たり1万5,528円)		



農業集落排水事業通水式



中谷地遺跡の発掘調査

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 12年 (2000)	1・24	町議会議員の定数を22人から20人に変更。		<秋田県>
	1・25	馬場目小新校舎、体育館が完成。	3・30	県庁第2庁舎が開庁。
	1・28	馬場目小新校舎、体育館の竣工式を開催。	4・15	由利組合総合病院で県内初の脳死判定。脳死移植へ。
	2・8	中学2年生を対象に立志式を開催。	7・1	秋田空港夜間駐機と東京便の1日7便がスタート。
	2・27	町体育協会40周年記念式典、祝賀会を開催。		<国内外>
	3・8	平成12年度当初予算決定。(一般会計56億1,300万円)	3・31	北海道の有珠山が噴火。
	3・17	馬川交流センターが完成。	4・5	森内閣が成立。
	3・26	町議会議員選挙執行。現職15人、元職1人、新人4人の20人が当選。投票率は89.09%。	5・7	ロシア大統領にプーチン氏が就任。
	4・1	介護保険制度がスタート。 過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域に指定。	6・25	第42回衆議院議員選挙執行。
	4・6	第28代町議会議員に工藤卓美氏、副議長に草皆隆悦氏就任。	7・8	三宅島雄山が噴火。9月2日には全島避難勧告が発令。
	4・18	田町火災発生。住家7棟、非住家1棟が全焼。	7・21	九州・沖縄サミット首脳会合を開催。(～23日)
	6・1	町のホームページを開設。 児童手当の支給を小学校就学前まで拡大。	9・15	シドニーオリンピックが開幕。
	7・17	第14代助役に石井一夫氏を選任。		
	7・22	中華人民共和国遼寧省大窪県人民政府の代表が本町を視察。		
	8・1	福祉医療制度を改正。小学校就学前までの医療費が無料に。		
	8・15	きゃどっこまつりを開催。(～16日)		
	9・19	町過疎地域自立促進計画を策定。		
	9・30	最低賃金 1日4,795円、1時間600円		
	10・1	国勢調査実施。(人口12,372人、世帯数3,880世帯)		
	10・6	町長、議長ら13人が中華人民共和国遼寧省大窪県を視察。(～11日)		
	10・12	秋田中央地区広域農道(八郎瀧町、河辺町間)が開通。		
10・21	躍進町45周年記念式典を開催。 町功労者 山田國三氏(自治)、千田良次氏(自治、民生)、新谷國太郎氏(自治)、石井孫一氏(自治)、澤田石榮之助氏(産業、民生)			



21世紀に向けて頑張る子どもたち

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 13年 (2001)	1・9	町商工会設立40周年記念式典が開催。		<秋田県>
	2・13	町長選挙執行。第13代町長に佐藤邦夫氏が無投票当選。	3・24	県立総合プールがオープン。
	3・1	広報ごじょうめ800号を発行。	4・15	県知事寺田典城氏が再選。
	3・14	平成13年度当初予算決定。(一般会計57億800万円) 町教育委員会で矢田津世子作品集Ⅰ「神楽坂」を刊行。	5・12	能代港国際ターミナルが供用開始。
	4・2	ケアセンター五城目(町保健介護支援センター)がオープン。	8・16	第6回ワールドゲームズが開幕。 (～26日)
	6・16	ジャスコ五城目ショッピングセンターがオープン。	9・1	湖畔時報創刊50周年記念式典が 開催。
	7・16	猿田沢・大ナコ地区地すべり災害が発生。対策本部を設置し、周辺の5世帯、14人に避難指示。(17日正午)	10・29	秋田空港と韓国を結ぶ国際定期便 が就航。
	8・1	悠紀の国五城目(農林水産物直売・食材供給施設)がオープン。	11・30	秋田県中央信用金庫が破たん。
	8・7	第13代収入役に小林博實氏を選任。		<国内外>
	11・3	町功労者 佐藤祐治氏(自治、産業)、小野一二氏(教育文化、自治)、田口誠一氏(保健衛生、スポーツ)、伊藤義男氏(民生、産業) 内藤翠雲氏をふるさと大賞として表彰。	4・26	小泉内閣が成立。
	11・9	千代田区内神田旭町町会と町町内会長の姉妹提携15周年記念式典を開催。	7・29	第19回参議院議員選挙執行。
	11・30	五城目保育園創立30周年記念式典が開催。 ※五城目一中男子バスケットボール部が東北大会で優勝。(18年ぶり5度目)	9・11	米中枢同時テロが発生。
			9・21	国内初の狂牛病を確認。
		10・7	米がアフガンへ空爆を開始。	
		10・15	米で炭疽菌テロが発生。	
		10・29	テロ対策特別措置法が成立。	
				
				農林水産物直売施設 「悠紀の国五城目」がオープン
平成 14年 (2002)	2・21	「五城目町スポーツ少年団」の設立総会が開催。(加盟登録：14団体)		<秋田県>
	3・1	「市町村合併調査研究チーム～ビジョン21プロジェクトチーム」を設置。	3・20	県が仁賀保、金浦、象潟の3町を県 内で初の合併重点支援地域に指定。
	3・13	平成14年度当初予算決定。(一般会計56億6,900万円)	4・1	北東北三県北海道合同事務所が開設。
	3・14	町教育委員会で矢田津世子作品集Ⅱ「花陰」を刊行。	7・9	平成19年度秋田国体開催が内定。 29日に愛称を「秋田わか杉国体」 に決定。
	4・1	町新世紀総合発展計画がスタート。 社会福祉協議会事務所がケアセンター五城目に移転。 学校完全週5日制がスタート。	10・26	日本海東北自動車道の岩城ICと 秋田空港IC間が開通。
	4・5	元町長の加賀谷力司氏が逝去。4月17日に合同葬儀・告別式を実施。	11・19	「北東北3県・北海道ソウル事務所」 が韓国にオープン。
	4・8	学童保育「すずむしクラブ」を開始。	12・6	ハタハタを「県の魚」に制定。
	4・9	第29代町議会議長に工藤卓美氏、副議長に草皆隆悦氏就任。		<国内外>
	4・10	町功労者 加賀谷力司氏(各分野の向上、進展)	1・1	欧州単一通貨「ユーロ」の現金流 通が開始。
	4・20	「土曜スクール」を実施。	4・1	ペイオフ制度がスタート。
	4・25	「知事の市町村合併トークin五城目」が開催。		
	4	町防犯指導員を設置。(館岡弘隊長、8名)		
	6・20	国体県予選登山競技が森山で開催。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 14年 (2002)	7・2	町農業委員会委員選挙執行。	5・20	東ティモールが独立し「東ティモール民主共和国」が誕生。
	8・5	住民基本台帳ネットワークシステムの第1次サービスを開始。	5・31	日韓共催のサッカー・ワールドカップが開幕。
	8・16	馬場目ミニバススポ少が東北大会で優勝。	9・17	小泉首相が北朝鮮を訪問し金正日総書記と初の会談。「日朝平壤宣言」に署名。
	8・25	ハンガリーの少年少女4人が来町。	10・15	北朝鮮の拉致被害者5人が一時帰国。
	9・28	日本海沿岸東北自動車道昭和琴丘間(20.7km)が開通。野田地区に五城目八郎潟ICが完成。	12・3	農水省が「コメ政策改革大綱」を策定。
	10・10	土橋傑さんがアジア大会カヤックフォア1,000mで銅メダルを獲得。		
	10・12	県立五城目高創立60周年記念式典が開催。「五高讃歌」が制作。		
	10・15	市町村合併に関する町民との懇談会を開催。(～11月8日)		
	11・3	町功労者 猿田日出男氏(民生、産業)、八柳知三氏(教育、自治)、猿田俊雄氏(自治、産業)、長谷川恵一氏(民生、自治)		
	11・8	道の駅五城目がオープン。(県内22番目)		
	11・13	市町村合併に関する町民意識調査を実施。(世帯調査4,109世帯、個人調査3,300人)		
	11・15	NTT東日本が町で高速インターネット「ADSL」のサービスを開始。		
	12・1	ダイオキシン類対策特別措置法により、秋田市への可燃ごみの搬入が開始。		
	12・7	町わらしべ体験塾がスタート。		
	12・14	町水泳協会創立20周年記念式典を開催。		
	12・20	猿田沢・大ナコ地区地すべり災害の避難指示を一時解除。 ※五城目小の電車を廃棄。		
平成 15年 (2003)	2・5	町内全世帯に水切りバケツを配布。(～14日)		
	2・9	五城目一中吹奏楽部木管八重奏が東北大会で金賞を受賞。	4・1	＜秋田県＞ ブラックバスの再放流が禁止。 第1子0歳児の保育料が無料化。 (全国初)
	3・12	平成15年度当初予算決定。(一般会計53億3,300万円)	4・14	大森山動物園でニホンイヌワシの自然ふ化に成功。
	3・14	町教育委員会で矢田津世子作品集Ⅲ「茶粥の記」を刊行。	6・21	県立野球場「こまちスタジアム」がオープン。
	3・20	富津内小閉校式を開催。	12・15	ミニ市場公募債「北東北みらい債」の申込が開始され、即日完売。
	3・23	杉沢中閉校式を開催。		
	3・25	富津内保育園の開園式、杉沢保育園の休園式を開催。		
	3・30	馬場目ミニバススポ少が全国大会でブロック優勝。		
	3・31	富津内小、杉沢中が閉校。富津内保育園が開園。杉沢保育園が休園。		
	4・1	五城目小と富津内小、五城目一中と杉沢中が統合。 行政改革大綱を策定、実施。(～平成17年度) 馬場目地区統合簡易水道が供用開始。(給水世帯295世帯) 野田・浦横町地区簡易水道が供用開始。(給水世帯99世帯)		
	4・18	五城目町、八郎潟町、井川町の3町で湖東三町合併懇談会を設立。		
	5・16	猿田沢・大ナコ地区地すべり災害の避難指示を全面解除。 災害対策連絡協議会、町災害対策本部を解散。		
	5・24	第54回県植樹祭を開催。		
6・16	市町村合併に関する町民との懇談会を開催。(町内7か所、～22日)			
6・16	市町村合併に関する町民意識調査を実施。(5,500人、～25日)			



野田地区にできた「五城目八郎潟IC」



富津内小の閉校式



杉沢中の閉校式

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 15年 (2003)	6・17	幼保一体型施設の建設工事が始まる。		<国内外>
	7・8	南秋広域廃棄物対策協議会が解散。	3・20	米軍がイラクへの攻撃を開始。
	8・4	ハンガリーの少年少女22人が来町。	4・1	日本郵政公社が発足。
	8・6	五城目町・八郎潟町・井川町任意合併協議会が設立。	4・2	新型肺炎(通称・SARS)の発生で、世界保健機関が世界規模で渡航延期を勧告。
	8・11	八郎湖周辺六市町村廃棄物対策協議会を設立。	6・6	有事関連法が成立。
	8・25	住民基本台帳ネットワークシステムの第2次サービス、住民基本台帳カードの交付を開始。	9・24	民主党と自由党が合併し新しい民主党が誕生。
	9・20	「知事と語ろうハーモニーフォーラム」が開催。	10・10	改正テロ対策特措法が成立。衆議院が解散。
	10・2	第19回東北地区へき地教育研究会秋田大会が杉沢小学校で開催。(～3日)	11・9	第43回衆議院議員選挙執行。
	10・11	湖東総合病院創立70周年祝賀会が開催。	11・19	第2次小泉内閣が成立。
	10・14	市町村合併に関する町民との懇談会が開催。(～20日)	12・1	地上デジタル放送が都市圏で開始。
	10・20	秋田信用金庫と五城目信用金庫が合併。	12・24	米国で牛海綿状脳症(BSE)感染牛が確認され、米国産牛肉などの輸入を一時停止。26日に輸入禁止を正式決定。
	10・24	第40回町教育振興大会で米長邦雄永世棋聖の講演会を開催。		
	10・31	五城目町・八郎潟町・井川町合併協議会(法定)が設立。		
	11・3	町功労者 佐々木勝太郎氏(民生、自治)、小玉正文氏(教育、芸術文化) 石川三佐男氏、白澤恵舟氏をふるさと大賞として表彰。		
	12・1	町消防署に高規格救急車が配備。		
	12・7	コールもりやま25周年記念式典が開催。		
12・9	第1回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。			
平成 16年 (2004)	1・24	ふるさと大賞受賞記念講演会を開催。		<秋田県>
	2・11	帝釈寺集会所の竣工式が実施。	1・1	北東北三県で産業廃棄物税制度を共同導入。
	2・16	もりやまこども園(五城目幼稚園・保育園一体型施設)の竣工式を実施。	3・21	県立武道館がオープン。
	3・1	五城目町男女共同参画計画を策定。	4・1	国際教養大学が開学。 県立の中高一貫校「横手青陵学院」が開校。
	3・10	平成16年度当初予算決定。(一般会計57億361万円)	7・6	秋田わか杉国体の開催が正式決定。
	3・14	町教育委員会で矢田津世子随想集「思い出の町」を刊行。	7・13	男鹿水族館GAOがオープン。
	3・28	町議会議員選挙執行。現職19人、元職1人の20人が当選。史上初の無投票。	7・16	秋田拠点センター「アルヴェ」がJR秋田駅東口に完成。
	3・30	介護老人保健施設「湖東老健」が完成。事業がスタート。	7・17	県内でコイヘルペスウイルス(KHV)の感染を確認。
	3	五城目小入口の五城目歩道橋を撤去。	8・6	「ひとめぼれ」の水稲種子への酒米混入が判明。
	4・1	教育長に小玉孝一氏が就任。 五城目一中で2学期制を導入。	9・22	16年産水稲の作況指数が全県で「86」の全国最低に。
	4・8	第30代町議会議長に千田峯夫氏、副議長に荒川正己氏就任。	9・26	アテネ・パラリンピックの男子マラソンで高橋勇手選手(横手市出身)が金メダル。
	4・27	第6回合併協議会で新町の名称を「湖東町(ことうちょう)」に決定。	11・1	平成の大合併、県内第1号として美郷町が発足。
	5・1	五城目保育園で子育て支援センター「わんぱーく」がスタート。		
	6・1	町観光協会で「五城目町観光スタンプラリー」を実施。(～10月31日)		



合併協議会が設置され本格的な協議がスタート

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと	
平成 16年 (2004)	6・9	菊地酒造店旧酒造工場と菊地家住宅が国の登録有形文化財に登録。		<国内外>	
	7・1	広報ごじょうめの「なつかしのごじょうめのわらしだ」(作者 大石清美さん)が100回目の掲載。	1・3	米航空宇宙局(NASA)の無人探査車「スピリット」が火星に着陸。	
	7・19	集中豪雨により道路や田んぼなどに被害。	1・12	国内で高病原性鳥インフルエンザによる鳥の大量死が発生。	
	7・25	第15代助役に石井一夫氏を選任。	4・1	商品価格を消費税込みで表示する方式が義務化。	
	8・20	台風第15号が接近。町内全域で停電。(～21日)農作物に塩害などの被害。		新食糧法が施行。米の販売が登録制から届出制に。	
	8・26	知事の市町村懇談会が開催。	5・21	裁判員法が成立。	
	8・29	五城目一中吹奏楽部が東北大会で金賞を受賞。	5・22	小泉首相が平壤を訪問。拉致被害者の家族5人の帰国を実現。	
	9・30	台風第21号が接近。岡本地区で土石流が発生。	7・11	第20回参議院議員選挙執行。	
	10・14	第14回日本美術文化交流協会サミットが開催。	9・1	浅間山が噴火。	
	10・31	町功労者 笹尾知氏(保健衛生、児童福祉・教育)、草皆隆悦氏(自治、民生)、荒川要悦氏(自治、社会体育)	9・18	日本プロ野球で史上初の全試合スト。(～19日)	
	11・19	町村集会所が完成。	10・23	新潟県中越地震が発生。	
	11・26	広青苑・いこいの里開設10年記念式典が開催。	11・1	20年ぶりに図柄を刷新した新紙幣3種類を発行。	
	12・5	佐々木基了さんが青年海外協力隊員としてエチオピアへ。	11・3	田臥勇太選手がNBA選手として公式戦に初出場。	
	12・13	戸籍事務がコンピュータ化。			
	12・14	第2回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。			
	12・29	リバーサイド磯ノ目を閉館。			
12・31	合併協議会から井川町が離脱。				
					
		幼保一体型施設「もりやまこども園」			
平成 17年 (2005)	1・5	リバーサイド磯ノ目を町商工会に無償貸与。		<秋田県>	
	1・8	町内7地区で町政座談会が開催。(～12日)	3・22	平成の大合併、6新市(北秋田、湯上、大仙、由利本荘、男鹿、湯沢)がスタート。	
	1・17	新商工会館の開館式が開催。(旧リバーサイド磯ノ目)	4・17	県知事寺田典城氏が3選。	
	2・10	広域五城目体育館の改修工事が始まる。			
	2・20	町長選挙執行。第14代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。投票率は85.26%。			
	2・28	合併協議会を廃止。			
	3・10	八郎湖周辺清掃事務組合が設置。			
	3・12	五城目郵便局開局130周年記念講演会が開催。			
	3・18	平成17年度当初予算決定。(一般会計49億2,885万円) 町農業委員会の選挙による委員定数を17人から14人に変更。			
	4・1	恋地山荘、恋地スキー場を休業。 町内各小学校で2学期制を導入。 馬場目駐在所・大川駐在所が五城目警察署に統合。 湖東3町商工会が発足。 養護老人ホーム「森山荘」の管理運営を五城目やまゆり会へ移管。 町老人訪問看護ステーションの管理運営を町社会福祉協議会へ移管。 早朝健診と婦人病検診が一部有料化。			
					
			渡邊彦兵衛町長が初登庁		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 17年 (2005)	4・1	収入役不在のため副収入役を配置。	4・20	県と大王製紙の和解が成立。
	5・16	第16代助役に児玉泰氏を選任。	9・5	第59回全国植樹祭の会場に北秋田市の「北欧の杜公園」が選定。
	5・28	近畿五城目会が発足10周年を迎える。	12・25	羽越本線で特急「いなほ」の脱線転覆事故が発生。
	6・1	「町長への手紙」がスタート。 町内の幼稚園、小・中学校、高校で「みんなの登校日」が始まる。		<国内外>
	6・6	五城目町史が完成。町ホームページへ掲載が開始。	2・17	中部国際空港が開港。
	6・15	広域五城目体育館の改修工事が完成。	4・2	ローマ法王ヨハネ・パウロ二世が死去。
	6・25	アニマル浜口さんの記念講演会を開催。	4・25	J R福知山線の脱線事故が発生。
	6	秋田わか杉団体実行委員会が設立。	9・11	第44回衆議院議員選挙執行。
	7・1	馬場目川の特別警戒水位が設定。(久保水位観測所、2.8m)		
	7・5	町農業委員会委員選挙執行。		
	7・16	町観光協会が「ほたる観賞ツアーin小倉川」を開催。		
	8・12	町と五城目・内川郵便局が「道路破損等の情報提供に関する覚書」を締結。		
	8・15	きゃどっこまつりと全町盆踊り大会を同日・同会場で開催。		
	8・22	秋田地方法務局五城目出張所が同局登記部門に統合。		
	8・29	アスベスト除去工事のため町民センターを休館。		
	9・11	五城目一中吹奏楽部が東北大会小編成の部で金賞を受賞。		
	9・13	五城目小入口交差点の信号機が「歩車分離式」に変わる。		
	9・26	町身体障害者協会創立55周年記念大会が開催。		
	9・30	新しい馬場目岳山頂避難小屋が完成。		
	10・1	国勢調査実施。(人口11,678人、世帯数3,891世帯) 町相撲連盟創立40周年記念式典が開催。		
	10・8	五城目一中吹奏楽部が東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞。		
	10・18	福祉バス「森山号」を廃止。		
	10・20	杉沢小跡地利活用検討委員会を設置。		
	11・3	町合併50周年記念式典を開催。 町功労者 阿部三郎氏(自治、教育)、北島宇一郎氏(民生、産業)、小玉郁夫氏(自治、産業)		
11	地域雇用創造協議会を立ち上げ。(商工会、JA、企業連絡懇談会、町)			
12・1	「五城目町自立計画」を策定。			
12・11	中心市街地活性化を進める「株式会社あったか五城目」が設立。			
12・14	第3回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。			
12・16	役場の年末年始の休日を12月31日から1月5日までに変更。 町議会議員の定数を20人から16人に変更。			
12・24	雪害警戒対策室を設置。(12月21日～24日の積雪量64cm)			



きゃどっこまつりで天翔太鼓を披露



全町盆踊り大会

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 18年 (2006)	1・5	豪雪対策本部を設置。(1月4日夜から76㍉の大雪。積雪量137㍉)		
	1・14	豪雪対策本部を豪雪災害対策本部に切り替える。		
	1・27	千代田区から豪雪の災害見舞金をいただく。(千代田区の各種団体やふるさと五城目会からもたくさんのお見舞いをいただく)		
	2・7	各地区町政座談会を開催。(～2月16日、7地区)		
	2・22	豪雪災害対策本部を雪害警戒対策室に切り替える。		
	2・25	杉沢小学校の閉校式を開催。 株式会社あったか五城目が「朝市あったかサロン」をオープン。		
	3・16	町消防団の全分団に小型動力ポンプ付積載車が導入配備。		
	3・23	平成18年度当初予算決定。(一般会計46億7,700万円)	2・10	乳頭温泉郷「鶴の湯温泉」で雪崩が発生。
	3・26	第8回東北親善川柳大会が開催。	3・3	県婦人会館で約7,000万円の使途不明金が判明。
	3・27	雪害警戒対策室を廃止。	4・10	藤里町の川岸で小4女児の遺体が発見。5月18日には小1男児の遺体も発見され児童連続殺人事件に発展。
	3・28	内川、富津内地区で高速インターネット「ADSL」のサービスが開始。	8・1	小松由佳さんが世界第二の高峰K2へ日本人女性として初登頂。
	3・31	杉沢小が閉校。 町開発公社が解散。	9・5	郡市対抗野球大会でTDKが日本一に。
	3	第3次行政改革推進プログラム(集中改革プラン)を策定。 ドイツ・アメリカからの留学生2人が町にホームステイ。	9・12	皇太子殿下が来県。本荘・由利地方を視察される。
	4・1	雀館児童館、内川児童館、築地町児童館を廃止。 役場の組織機構の見直しで「まちづくり課」を設置。 寿条例を改正。(90歳と100歳の方に長寿祝金を支給) 馬場目小と杉沢小が統合。	10・3	八峰町峰浜庁舎が全焼。
	4・1	旧杉沢小中学校校舎が「教育福祉活動センター」としてスタート。 赤倉山荘、盆城庵を町直営で営業開始。 指定管理者の株式会社あったか五城目が五城館の営業を開始。	10・23	大仙市で男児殺人事件が発生。 ※11月以降、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が急増。
	4・12	第31代町議会議長に千田峯夫氏、副議長に荒川正己氏就任。	7・5	北朝鮮が「テポドン2号」を含む7発のミサイルを発射。
	5・1	アスベスト除去などで中止していた町民センターの使用を再開。	7・14	日銀がゼロ金利解除を決定。
	5・22	町役場職員でパトロールチームを編成し、小中学校の下校時間に通学路を巡回。	8・24	冥王星を惑星から格下げ。
	6・11	町観光協会が第26回県総合錦鯉品評会を開催。	9・6	秋篠宮ご夫妻に長男が誕生。悠仁さまと命名。
	6・23	五城目タンス組合が千代田区新庁舎の家具類の製作を契約。	9・15	オウム真理教松本智津夫被告の死刑が確定。
	7・1	休日・夜間の役場庁舎管理を警備会社に委託。		
	8・1	指定管理者のいそうら直売会が悠紀の国五城目の営業を開始。		
	8・9	八郎潟町からの要請で給水などの支援を行う。		
9・2	町観光協会が「もりやまウオーク」を開催。			
9・16	農事組合法人「山ゆり」が設立。(小林正志代表理事)			
9・21	教育長に伊藤恵朗氏が就任。			
9	五城目一中改築基本構想を策定。			
10・24	千代田区議会議員11人が議員研修で来町。			
10・26	株式会社あったか五城目が朝市通り一方通行などの社会実験を実施。(～11月25日)			
10・29	町功労者 伊藤幸雄氏(教育、産業)			



協働で豪雪を乗り越えました

<秋田県>

- 2・10 乳頭温泉郷「鶴の湯温泉」で雪崩が発生。
- 3・3 県婦人会館で約7,000万円の使途不明金が判明。
- 4・10 藤里町の川岸で小4女児の遺体が発見。5月18日には小1男児の遺体も発見され児童連続殺人事件に発展。
- 8・1 小松由佳さんが世界第二の高峰K2へ日本人女性として初登頂。
- 9・5 郡市対抗野球大会でTDKが日本一に。
- 9・12 皇太子殿下が来県。本荘・由利地方を視察される。
- 10・3 八峰町峰浜庁舎が全焼。
- 10・23 大仙市で男児殺人事件が発生。
※11月以降、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が急増。

<国内外>

- 7・5 北朝鮮が「テポドン2号」を含む7発のミサイルを発射。
- 7・14 日銀がゼロ金利解除を決定。
- 8・24 冥王星を惑星から格下げ。
- 9・6 秋篠宮ご夫妻に長男が誕生。悠仁さまと命名。
- 9・15 オウム真理教松本智津夫被告の死刑が確定。



121年の歴史に幕を閉じた杉沢小学校

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 18年 (2006)	10・31	まちのにぎわいづくりシンポジウムが開催。	9・26	安倍内閣が成立。
	11・1	湖東3町商工会が共通商品券を販売。	10・9	北朝鮮が地下核実験を実施。
	11・17	ワンダフルあきたカルチャーフェスティバルin五城目が開催。(～20日)	10・24	携帯電話の番号継続制がスタート。
	11・29	旧富津内小、旧富津内保育園の解体工事を開始。	12・15	改正教育基本法が成立。
	12・1	イオンスーパーセンター五城目店と災害時の協力に関する協定を締結。	12・30	イラクのフセイン元大統領の死刑が執行。
平成 19年 (2007)	1・15	旧富津内小、旧富津内保育園の解体工事が完了。	 <p>天皇・皇后両陛下ご来町</p> <p><秋田県></p> <p>2・10 秋田わか杉国体冬季大会が開幕。(～13日)</p> <p>3・5 八郎湖の水質改善を目指し、防潮水門を開き湖水を放出する試験を開始。</p> <p>9・15 地下自動車専用道路「秋田中央道路」が開通。</p> <p>9・29 秋田わか杉国体が開幕(～10月9日)し、本県選手団が天皇杯と皇后杯を獲得。</p> <p>10・13 秋田わか杉大会が開幕。(～15日)</p> <p>10・24 文科省が全国学力・学習状況調査の結果を公表。本県はトップクラスの好成績。</p> <p>11・22 県南を中心に11月としては異例の大雪。</p> <p><国内外></p> <p>2・18 日本初の大規模都市型マラソン「東京マラソン」が開催。</p> <p>4・24 全国学力・学習調査が実施。</p> <p>5・14 国民投票法が成立。</p> <p>7・29 第21回参議院議員選挙執行。民主党が参院第一党に。</p> <p>9・12 安倍晋三首相が退陣表明。</p>  <p>秋田わか杉国体レスリング競技を開催</p>	
	1・21	エチオピアから帰国した佐々木基了さんの帰国報告会が開催。		
	2・10	秋田わか杉国体リハーサル大会として、高松宮杯東北高等学校レスリング大会を開催。(～11日)		
	2・20	町が全国優良町として表彰を受ける。		
	2・22	光ファイバ誘致について株式会社あつたか五城目と共に要望書を提出。		
	3・14	平成19年度当初予算決定。(一般会計45億6,000万円)		
	3・15	千代田区新庁舎お披露目式が開催。		
	3・17	町観光協会40周年記念式典が開催。		
	3・31	内川保育園が休園。		
	4・1	役場の組織機構を見直し。それぞれ2課ずつを統合し、町民福祉課、産業課、建設課を設置。ケアセンター五城目の保健介護担当職員が役場庁舎へ移動。		
		町役場庁舎内に地域包括支援センターを設置。		
		各地区町内会長会を指定管理者とした各地区公民館の管理運営がスタート。		
		指定管理者の合地町内会が益城庵の営業を開始。		
		助役の呼称が副町長に改正。		
		協働のまちづくり支援制度がスタート。		
		広報ごじょうめの表紙・裏表紙が2色印刷に。		
		町食生活改善推進協議会が発足。(坂谷晃会長)		
	4・17	千代田区新庁舎へ樺テーブルを寄贈。		
	5・23	町農村生活研究グループが「畑の学校」を開講。		
	6・10	秋田わか杉大会のリハーサル大会を開催。		
6・30	矢田津世子生誕100年記念として特別講演を開催。			
7・9	五城目一中第二体育館などの解体工事に着手。			
8・8	「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が開催。			
8・15	きゃどっこまつりが20回の節目を迎える。			
8・31	五城目一中創立60周年記念式典が開催。			
9・3	五城目局(852局、一部を除く)で光ファイバ通信「Bフレッツ」のサービスが開始。			
9・17	16日からの豪雨により川が氾濫。町に大きな被害。(3町内に避難勧告、床上浸水5戸、床下浸水26戸)			
9・21	秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の大会旗・炬火リレーが開催。			
9・27	千代田区から豪雨の災害見舞金をいただく。(ふるさと五城目会などからもお見舞いをいただく)			
9・30	天皇・皇后両陛下がご来町。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 19年 (2007)	10・5	秋田わか杉国体成年男子レスリング競技会が開催。 (～8日)	10・1	日本郵政公社が民営化。
	10・13	秋田わか杉大会バレーボール競技会聴覚障害者の部が開催。 (～15日) 常陸宮殿下・同妃殿下がご来町。	11・2	テロ対策特別措置法が失効。
	10・28	第22回国民文化祭とくしま2007大会の川柳部門で大石一粹さんの作品が第1位に。		
	11・1	第2代副町長に武田和栄氏を選任。		
	11・3	町功労者 小玉久男氏(教育)、館岡正一氏(自治、産業)		
	11・30	五城目一中の建設工事に着手。		
	12・1	五城目やまゆり会へ森山荘を譲与。 本町部の8町内会が町中心市街地排雪対策協議会を設立。		
	12・18	首相官邸で渡邊町長に地域再生計画の認定書が授与。		
平成 20年 (2008)	1・1	広報ごじょうめの表紙と裏表紙が4色印刷に戻る。		<秋田県>
	2・1	八郎湖周辺クリーンセンターの試験稼働が開始。ごみの出し方や分け方、収集日が一部変更。 五城目小へのスクールバス試験運行を実施。	3・25	水稻の新品種「ゆめおぼこ」を奨励品種に採用。
	2・12	灯油価格高騰のため高齢者世帯などに福祉灯油引換券を支給。	4・28	十和田湖畔のハクチョウの死がきっかけから、本県で初となる鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)が確認。
	2・29	町やまゆり栽培研究会設立10周年記念式典が開催。	5・1	比内地鶏偽装事件が発生。
	3・10	平成20年度当初予算決定。(一般会計54億3,900万円)	5・30	東京アンテナショップ「あきた美彩館」が品川駅前オープン。
	3・13	矢田津世子生誕100年を記念した「やまゆり作文コンテスト」の表彰式を実施。	6・1	水と緑の森づくり税がスタート。
	3・16	町体育協会50周年記念式典が開催。	6・14	岩手・宮城内陸地震発生。湯沢市、東成瀬村で震度5強。
	3・23	町議会議員選挙執行。現職15人、新人1人の16人が当選。投票率は78.58%。	6・15	北秋田市で全国植樹祭が開催。
	3・24	町地域公共交通協議会が設立。	8・29	全国学力テストで2年連続トップ級の成績。
	3・25	『「五城目」のにぎわいづくりを考えるつどい』が開催。		十和田湖の県境に合意。(秋田4・青森6)
	4・1	役場1階に保健室ができる。 八郎湖周辺クリーンセンターが本格稼働。 老人保険制度が後期高齢者医療制度に変わる。 基本健康診査が特定健康診査に変わる。 ふるさと納税制度が始まる。	10・29	ジョイフルシティ3店が閉店。
	4・3	第32期町議会議長に荒川正己氏、副議長に澤田石亀雄氏が就任。	11・2	八郎瀧町川崎地区で竜巻と見られる突風が発生。
	4・25	町キイチゴ研究会が発足。(佐川誠会長、会員25人) 戸籍窓口で本人確認が必要に。	12・25	寺田県知事が全国学力テストの市町村別結果を公表。
	5・27	「県農山村活力向上モデル地域」に恋地・坊井地・杉沢・合地の4集落が選ばれる。		<国内外>
	5・28	チャレンジデーへ町が初参加。(参加率46.0%)	4・1	道路特定財源の暫定税率の期限切れでガソリンが値下げに。
	6・7	ボランティアを募り雀籠多目的広場の芝張りを実施。(～8日、参加者約350人)	9・1	福田康夫首相が退陣表明。
	6・8	町水防講習会を開催。	10・27	株価がバブル崩壊後の最安値を更新。
	6・25	町酒米研究会が発足。(伊藤正春会長、会員10人)		
	7・1	町農業委員会委員選挙執行。		
	7・11	第1号となる町への「ふるさと愛郷寄附金」をいただく。		
	7・30	マリ・クリスマスさんが町の外国語指導助手(ALT)に就任。		
	7	インターネット公売を実施。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 20年 (2008)	8・9	広報連載150号記念「ごじょうめのわらしだ色紙原画展」が開催。(～17日)		
	8・10	馬場目北ノ又集落やネコバリ岩などで、映画「釣りキチ三平」の撮影が行われる。(～19日)		
	8・31	森山登山競技会ともりやまウオークが同日開催。		
	9・1	広報ごじょうめの「なつかしのごじょうめのわらしだ」(作者 大石清美さん)が150回目の掲載。 町消防団が内閣総理大臣表彰を受賞。(平成19年豪雨災害時の活動)		
	9・4	町酒造好適米販売確認書締結式が開催。		
	9・19	杉沢地区でNTTドコモが携帯電話通話サービスを開始。		
	10・1	馬場目線バス路線の代替交通として予約式乗合タクシーの実証運行がスタート。		
	10・12	第8回全国障害者スポーツ大会の卓球競技(聴覚障害者の部)で伊藤賀津雄さんが金メダル。		
	10・15	町観光協会とノースアジア大学が観光に関する連携協定に調印。		
	11・1	町功労者 伊藤建一氏(自治、産業)、館岡金男氏(自治)		
	11	町自立計画を改訂。		
	12・7	ふるさと五城目会創立20周年記念式典が開催。 コールもりやま結成30周年記念「みんなで歌おう会」が開催。		
	12・8	第6回あきたふるさと手作りCM大賞で最優秀賞を獲得。		
	12・19	五城目テレビ中継局(薬師山)から地上デジタル放送電波の発射が開始。		
	12・20	健康と食を考える集いを開催。(講師 工藤進英氏、渡辺広子氏)		
12・21	五城目一中新校舎の見学会を開催。			
				 <p>町が映画「釣りキチ三平」のロケ地に</p>
				 <p>第6回あきたふるさと手作りCM大賞で最優秀賞を獲得</p>
平成 21年 (2009)	2・5	東北ふるさとCMフェスティバル2009に県代表として参加。		
	2・15	町長選挙執行。第15代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。投票率は71.64%。	1・21	全国体力・運動能力調査で本県が上位に。
	2・23	五城目一中新校舎建設工事が完了。	4・12	秋田県知事に佐竹敬久氏が当選。
	3・3	町食育推進計画を策定。(県内第1号)	4・28	新型インフルエンザ対策危機管理部を設置。
	3・16	平成21年度当初予算決定。(一般会計54億2,900万円)	6・11	県内で初の新型インフルエンザ感染者を確認。
	3・20	町がロケ地となった映画「釣りキチ三平」の上映が開始。	9・2	県が「スポーツ立県あきた」を宣言。
	3・30	定額給付金・子育て応援特別手当の申請受付を開始。	10・1	北都銀行と荘内銀行(山形県鶴岡市)が経営統合し、「フィデアホールディングス」が発足。
	4・1	指定管理者の株式会社東北ダイケン秋田支店が赤倉山荘の管理運営を開始。(改装のため営業開始は7月1日から) 「五城目町雀館多目的広場」が供用開始。	10・7	本県初の裁判员裁判が開廷。
	4・5	五城目一中新校舎の完成見学会を開催。	10・13	協働政策会議が発足。
	4	一部患者の救急搬送が湖東総合病院から秋田市の病院に移行。	10・30	能代市浅内で竜巻が発生。
	5・17	映画「釣りキチ三平」ロケ地観光バスツアーを開始。	11・3	日沼頼夫さん(八峰町出身)が文化勲章を受章。
	6・6	広域五城目体育館で映画「釣りキチ三平」の上映会を開催。	11・28	新型インフルで県内初の死者。
	6・7	朝市プラザ「いぢび」がオープン。		
7・12	秋田追分全国大会が20回の節目を迎える。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 21年 (2009)	7・19	18日からの豪雨により川が氾濫。町に大きな被害。(1町内に避難勧告、床下浸水7戸)	1・20 3 4・5 5・21 8・30 9・16	<国内外> アメリカ史上初の黒人大統領、オバマ大統領が誕生。 高速道路で1,000円乗り放題割引(ETC使用、土日祝日)がスタート。 北朝鮮が長距離弾道ミサイル発射。 裁判員制度がスタート。 第45回衆議院議員選挙執行。民主党が308議席を獲得し第1党に。 民主党、社民党、国民新党による鳩山連立内閣が成立。
	7・23	五城目一中屋内運動場の建設工事がスタート。		
	8・8	高性寺ジャズインプレッションが開催。		
	8・14	千代田区から豪雨の災害見舞金をいただく。		
	9・25	五城目朝市フォトコンテストが開催。		
	9・29	北村、高樋地区でNTTドコモが携帯電話通話サービスを開始。		
	10・1	乗合タクシー馬場目線の本格運行がスタート。		
	10・18	「秋田の再生」をテーマにシンポジウムを開催。		
	10・22	新型インフルエンザワクチン接種の助成を開始。		
	10・23	千代田区で姉妹提携20周年記念式典を開催。		
	10・28	新嘗祭に加藤光儀さんが粟を献穀。		
	11・3	町功労者 猿田一美氏(自治)、伊藤重郎氏(自治)、伊藤久夫氏(民生、産業)		
	11・9	「三平の家」の来場者が10,000人を突破。		
	11・12	天皇陛下御在位20周年記念式典に伊藤容一郎さん(大嘗祭悠紀齋田の大田主)が出席。		
11・15	内川小閉校記念式典を開催。			
11・28	千代田区との児童交流事業モニターツアーを開催。(～29日)			
12・7	第7回あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞を獲得。			
平成 22年 (2010)	2・4	「湖東総合病院の医師確保と早期移転改築を求める署名」を県知事とJA秋田厚生連へ提出。(町の署名9,324人分、計27,367人分)	1・29 4・1 2・12 5・18 6・13 7・11 8・5 9・7 10・6	<秋田県> 県が独自の緊急支援「地域水田農業支援緊急対策」を発表。 JA全農あきたが新品種「ゆめおぼこ」の精米販売を開始。 <国内外> バンクーバー冬季オリンピック開幕。 口蹄疫の流行で宮崎県が非常事態宣言。 小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに地球に帰還。 第22回参議院議員選挙執行。 チリ鉱山落盤事故発生。地下の作業員33人が69日ぶりに全員救助。 尖閣諸島沖で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突。 ノーベル化学賞に根岸英一、鈴木章両氏受賞。
	2・14	一ノ関晃多さんが全国建築板金競技大会で優勝。		
	2・26	五城目一中屋内運動場建設工事が完了。		
	3・13	町ふるさとを語る同友会創立10周年記念祝賀会が開催。		
	3・15	平成22年度当初予算決定。(一般会計52億6,300万円)		
	3・21	五城目一中屋内運動場の見学会を開催。		
	3・24	町消防団が県知事表彰旗を受章。		
	3・29	湖東病院を守る住民集会在開催。		
	3・31	内川小が閉校。 森林資料館「五城目城」下の斜面にソーラーパネルを設置。		
	4・1	高樋線バス路線の代替交通として予約式乗合タクシーの実証運行がスタート。 五城目小と内川小が統合。 住宅リフォームへの助成を開始。 湖東総合病院が時間外の救急外来受付を中止。		
	4・2	赤レンガ倉庫跡地建物施設の一部を一時開放。(朝市開催日の午前中)		
	4・3	「五城目町循環バス」の試験運行がスタート。		
	4・5	第33代町議会議長に荒川正己氏、副議長に澤田石亀雄氏就任。		
	4・24	農家レストラン「清流の森」がオープン。		
	5・5	こどもの日全国少年野球教室が開催。		
	6・1	エンゼルタクシー券の交付を開始。		
	8・1	杉沢交流センター「友愛館」(旧教育福祉活動センター)がオープン。		



五城目町・千代田区姉妹提携20周年記念式典

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 22年 (2010)	8・1	指定管理者の清流の会が農家レストラン「清流の森」、 「盆城庵」の営業を開始。		
	8・2	レイチェル・リードさんが町の外国語指導助手(ALT)に就任。		
	8・6	五城目町・千代田区児童双方向交流事業を千代田区で開催。 (～8日)		
	8・15	「しよくいくのうた」が完成し、きゃどっこまつりで発表。		
	10・31	町合併55周年記念式典を開催。 町功労者 小熊金之助氏(自治)、小熊正明氏(教育、芸術文化)、小玉康夫氏(教育、芸術文化)、猿田和男氏(自治、スポーツ、芸術文化)		
	10・1	国勢調査実施。町の人口は10,516人(男4,874人、女5,642人)。		
	11・3	五城目一中新校舎しゅん工式、記念植樹、記念行事を開催。		
	12・1	馬場目・富津内・内川地区で光ブロードバンドサービスが開始。		
	12・5	町グラウンドゴルフ協会が創立20周年を迎え、記念式典を開催。		
				
	五城目一中新校舎が完成！			
平成 23年 (2011)	1・7	五城目町・千代田区児童双方向交流事業を開催。(～9日)		
	1・24	町農業委員の定数を20人から18人に削減。		
	3・11	午後2時46分、マグニチュード9.0の東日本大震災が発生。 町では震度4を記録。全町で停電(～12日)。町老人クラブのメンバー36人が岩手県大槌町で被災。		
	3・12	地震の影響により、全町で断水(～13日)。		
	3・13	町老人クラブのメンバーが大槌町から帰町。		
	3・14	平成23年度当初予算決定。(一般会計50億4,400万円)		
	3・27	姉妹都市の千代田区へ飲料水13.2トンを搬送。		
	4・1	役場組織機構改革により、課と係を変更・新設。 富津内地区予約式乗合タクシーの本格運行を開始。 五城目朝市ふれあい館がオープン。 大川保育園の運営を社会福祉法人キッズハウスもりやまに移管。		
	4・7	渡邊町長、荒川議長らが大槌町を訪問。義援金と野菜などを届ける。		
				
			135年の歴史に幕を閉じた 内川小学校	
				
			盆城庵となりにオープンした 農家レストラン「清流の森」	
				<秋田県>
			3・11	東日本大震災発生。県内でも震度5強。停電などで生活が混乱。
			4・7	東日本大震災の余震。県内陸南部で震度5強を観測。再び停電。
			8・15	能代商高が甲子園で県勢14年ぶりに初戦突破。2回戦も快勝。
			11・2	クニマスが縁で田沢湖と山梨県富士河口湖町の西湖が姉妹湖提携。
			12・9	秋田市の弁護士刺殺事件に判決。
				<国内外>
			2・6	八百長問題で大相撲春場所が中止。
			3・11	東日本大震災発生。観測史上最大のM9.0、最大震度7。巨大津波により沿岸部中心に壊滅的被害。東京電力福島第一原子力発電所事故。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 23年 (2011)	4・7	午後11時32分、宮城県沖で大きな余震が発生(M7.1)。町では震度5弱を記録、全町で停電(~8日)。	6・24	小笠原諸島が世界自然遺産に登録決定。
	4・10	県議会議員選挙が執行。南秋田郡選挙区で平山晴彦さんが当選。	6・26	平泉が世界文化遺産に登録決定。
	5・10	町都市計画マスタープランを策定。	7・17	サッカー女子ワールドカップドイツ大会で、なでしこジャパンが初優勝。
	5・12	五城目朝市ふれあい館のしゅん工式を実施。施設前のだまこマンファミリー石像がお披露目。	7・24	アナログ停波、地上デジタル放送に完全移行。
	6・29	馬場目小の五城目小への統合を、平成25年4月に決定。	10・31	円が戦後最高値を更新。1ドル75円32銭。
	7・5	町農業委員会一般選挙を告示。3選挙区13人が無投票当選。	12・1	玉川温泉で雪崩事故、岩盤浴の客3人死亡。
	7・24	テレビのアナログ放送が終了し、地上デジタル放送へ移行。		
	7・31	悠紀の国五城目の10周年祭を開催。		
	8・4	町消防庁舎建設協議会を設置。新消防庁舎建設の協議を本格的に開始。		
	8・25	湖東総合病院の改築着手の方針がJ A秋田厚生連から示される。		
	9・21	猿田大輔さんが全建総連全国青年技能競技大会で銀賞を獲得。		
	11・1	副町長に武田和栄氏が再任。		
	11・3	町功労者 小林進氏(民生、産業、郷土芸能)、佐々木廣志氏(民生、産業)		
	11・6	町米消費拡大地域活動推進委員会のだまこ鍋が、全国ご当地鍋フェスタで準グランプリを獲得。		
	11・13	ふるさと応援やまゆり大使にふるさと五城目会会員ら32人を委嘱。		
11・15	町道西野矢場崎線が完成し、全線が開通。			
11・25	五城目保育園が設立40周年を迎え、記念式典を開催。			
12・10	第9回あきたふるさと手作りCM大賞2011で最優秀賞を獲得。			
平成 24年 (2012)	1・23	湖東総合病院が平成26年5月開院予定などの改築日程などが報告される。		<秋田県>
	2・24	町老人クラブの会員らが、大槌町へ手作りの灯笼230個を贈る。	4・20	八幡平クマ牧場でヒグマに襲われ女性2人が死亡。
	3・9	平成24年度当初予算決定。(一般会計50億3,500万円)	7・21	秋田市中央街区にエリアなかいちが開館。
	3・25	町議会議員選挙を執行。現職11人、新人5人の16人が当選。投票率は77.27%。	8・12	ロンドン五輪で県出身選手が活躍。
	3・29	町浄水場に自家発電設備を設置。	12・4	男鹿水族館のホッキョクグマに赤ちゃんが誕生。
	4・1	新しい町総合発展計画を策定。 町役場の開庁時間を午後5時15分までに短縮。	12・16	衆院選本県3小選挙区で自民党が議席を独占。
	4・25	町幼保一体化推進協議会を設立。		<国内外>
	5・23	千代田区に五城目町東京千代田事務所を開設。	5・22	東京スカイツリーが開業。
	6・19	馬場目川水系土地改良区の発足を目指し、3土地改良区が合併予備調印。	7・27	ロンドンオリンピックが開幕。
	7・19	国民文化祭五城目町実行委員会を設立。	9・11	尖閣諸島国有化により日中関係が悪化。
	8・27	弘前大学人文学部との共同研究で中山遺跡発掘調査を実施。(~9月21日)	12・10	i P S細胞開発の山中伸弥氏、ノーベル医学生理学賞を受賞。
	8	緊急速報メールを導入。	12・16	衆院選で自民党が圧勝し、第2次安倍内閣が誕生。
	10・1	町教育長に伊藤恵朗氏が再任。		
	10・13	県立五城目高が創立70周年を迎え、記念式典を開催。		
	10・30	皇太子殿下がご来町。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 24年 (2012)	11・1	ごじょうめのわらしだが広報連載200回を迎える。		
	11・3	町功労者 伊藤英紀氏(自治、社会福祉、スポーツ)、伊藤容一郎氏(教育、民生、産業)、石井章司氏(自治、産業、民生)		
	11・24	馬場目小閉校式を開催。		
	12・8	第10回あきたふるさと手作りCM大賞で最優秀賞を獲得。		
	12・9	県道秋田八郎潟線館越バイパスが開通。		
平成 25年 (2013)	1・7	地域おこし協力隊員として河原崎彩子さん(京都府出身)が着任。	3・16	<秋田県> 秋田新幹線『スーパーこまち』が運行開始。
	2・17	町長選挙を執行。第16代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。投票率は74.95%。	5・1	男鹿水族館の小ぐま『ミルク』を一般公開。
	2・28	近藤乃愛さん(五城目小4年)が全国学生書き初め展覧会で文部科学大臣賞に輝く。	9・28	新県立美術館が本オープン。
	3・14	平成25年度当初予算決定。(一般会計51億5,400万円)		<国内外>
	3・28	上山内地区農業集落排水を公共下水道に接続。	1・8	大阪市内の公立高校で男子生徒の自殺をきっかけに体罰が社会問題化。
	3・31	馬場目小が閉校。 馬場目保育園が閉園。	3・15	日本、TPP交渉に参加を表明。
	4・1	五城目小と馬場目小が統合。 町教育長に小松正孝氏が就任。 乗合タクシー内川線・面潟線の試験運行を開始。 森林資料館五城目城の無料開放を開始。 町で特定不妊治療の助成を開始。	4・4	アベノミクス始動、異次元緩和で円安・株高。
	4・24	湖東総合病院改築工事の安全祈願祭が行われる。	5・5	長嶋茂雄さんと松井秀喜さんに国民栄誉賞。
	5・1	町で雇用奨励金制度を開始。	6・22	富士山が世界遺産に登録。
	5・12	町の観光PRキャラクターだまこちゃんが誕生。	7・21	参院選で自民圧勝、「ねじれ」解消。
	5・31	五城目小学校舎建築基本構想検討委員会を設立。	9・7	2020年夏季五輪・パラリンピック、東京開催決定。
	5・31	町の都市計画を変更。	10・1	消費増税、14年4月実施を決定。
	7・1	風しん予防接種費用の全額助成を開始。	11・3	プロ野球・楽天がチーム発足以来初の日本一に。
	7・22	地域おこし協力隊として橋本千賀子さんが着任。 ヤマト運輸株式会社と災害時の物資輸送の協力協定を締結。		
	8・1	町内会活動等実態調査を実施。		
	8・2	ブライス・アシュリンさんが町の外国語指導助手(ALT)に就任。		
	8・26	弘前大学人文学部との共同調査・研究で中山遺跡発掘調査を実施。(～9月13日)		
	8・27	秋田銀行と災害発生時の協力協定を締結。		
	9・2	五城目警察署と災害発生時の協力協定を締結。		
	9・4	屋内温水プールで水中運動教室を開講。		
	10・11	男鹿市・潟上市・南秋田郡の消防広域化協議を凍結。		
	10・15	みんなの店 あさいちが朝市通りにオープン。		
	10・20	国文祭1年前イベントとして五城目朝市きのこまつりを開催。 五城目G級グルメまつり・第1回だまこ鍋合戦が開催される。		
	10・27	五城目朝市500年記念マラソン大会が20回の節目を迎える。		
	10・28	地域活性化支援センターがオープン。		
	11	町の全71町内会を対象とした町内会ワークショップが始まる。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 25年 (2013)	11・3	町功労者 坂谷晃氏(自治、社会教育、民生)、草皆稔氏(教育、社会教育、スポーツ)、渡邊誠一氏(青少年、芸術文化)		
	11・5	高規格救急車を追加配備し、救急車2台体制での運用を開始。		
	11・8	子ども・子育て会議の設立会議を開催。		
	12・9	議会映像配信システムの運用を開始。		
平成 26年 (2014)	2	福祉灯油引換券を交付。		<秋田県>
	2・28	秋田中央郵便局・五城目郵便局・内川郵便局と災害発生時の対応と平常時における高齢者等見守り活動の相互協力に関する協定を締結。	3・15	『こまち』すべてE6系に。
	3	役場庁舎内に公衆無線LANを整備。	3・15	『あけぼの』定期運行終了。
	3・1	屋内温水プールの秋田県市町村未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる大規模改修開始。	3・25	秋田ノーザンハピネッツ躍進、東地区を制覇。
	3・13	平成26年度当初予算決定。(一般会計59億7,800万円)	10・4	国民文化祭が開催。秋田の魅力を発信(～11日)。
	4・1	幼保連携型の認定こども園もりやまこども園がスタート。消費税増税に伴い町の公共料金を変更。	12・14	第47回衆院選、自民が小選挙区独占。
	5	地域おこし協力隊として柳澤龍さん、丑田香澄さん、石田万梨奈さんが着任。		<国内外>
	5・1	湖東厚生病院が開院。	2・7	ソチ冬季オリンピックが開幕。
	5・7	秋田県未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる町内会からの交付金申請受付を開始。	4・1	消費税を5%から8%に引き上げ。
	5・22	大川小の統合についての地区住民説明会を開催。	6・1	消費税率10%への引き上げ延期を発表。
	5・30	町のフェイスブックによる情報配信を開始。	6・21	富岡製紙工場が「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界文化遺産に登録。
	6	五城目小建築検討委員会を設立。	9・23	「イスラム国」が勢力拡大、有志連合空爆。
	6・30	臨時福祉給付金、子育て世帯特例給付金の申請を開始。	9・27	御嶽山が噴火、57人死亡6人不明。
	7・1	町農業委員会委員の任期満了に伴う一般選挙の告示。3選挙区13人が無投票当選。	10・7	赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏にノーベル物理学賞の授与を発表。
	9・23	弘前大学と町教育委員会が合同で中山遺跡と八郎湯の亀ヶ岡文化研究発表会を開催。	12・1	7年ぶりの円安・株高。
	9・28	第1回秋田市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン! で町チームが町の部第5位入賞。	12・14	衆院選で与党圧勝。自公で3分の2超の326議席確保。
	10	12町村の電算共同化により基幹系システムが共同化を開始。納付書の一部でコンビニ納付が可能に。		
	10・11	国文祭全国朝市サミット2014in五城目を開催。(～12日)		
	10・20	町と県LPガス協会が協力協定を締結。		
	10・22	秋田県未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる在宅支援講演会を開催し中鉢湖東厚生病院院長が講演。		
	11・3	町功労者 佐藤信氏(産業)、伊藤恵朗氏(教育、芸術文化)		
	11・16	大川小閉校式典を開催。		
	12・1	集落支援員として長谷川成美さんが着任。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 27年 (2015)	1・21	災害時の復旧に向けて、東北地方整備局秋田河川国道事務所と覚書を締結。	5・30 8・16 11・10 11・24 9・19 9・19 10・5 10・5 10・1 10・5 10・18 10・21 10・28 11・1 11・3 11・6	<秋田県> 東北6県の代表的な夏祭りが集結した「東北六魂祭2015秋田」を秋田市で開催。 夏の甲子園で秋田商高が80年ぶり8強。 11か国によるT P P交渉が大筋合意。 県のP Rキャラクター「んだッチ」が活動を開始。 <国内外> 自衛隊の海外での武力行使に道を開く安全保障関連法が成立。 日本がラグビーW杯初戦で南アフリカに歴史的勝利。 マイナンバー制度が運用開始。 大村智氏と梶田隆章氏の日本人科学者2人がノーベル賞。
	2・25	秋田県市町村未来づくりプログラム・五城目プロジェクトによる大規模改修をしていた屋内温水プールが完成し、水中運動教室モデル事業を開始。		
	3・12	平成27年度当初予算決定。(一般会計58億800万円)		
	3・31	大川小が閉校。		
	4・1	五城目小と大川小が統合。		
	4・3	県議会議員選挙が執行。南秋田郡選挙区で平山晴彦さんが無投票当選。		
	5・1	クラウドファンディングによるシェアビレッジ町村が開村。		
	5・3	朝市振興の一環として、定期市以外の第1・第3日曜日臨時朝市を開設。		
	7・1	地域おこし協力隊として小熊隆博さんが着任。		
	7・2	湖東3町商工会が、五城目町、八郎湯町、井川町3町共通のプレミアム付き商品券を発行。		
	8・6	第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会を開催。		
	9・24	秋田銀行と空き家の利活用等に関する地方創生連携協定を締結。自治体と金融機関の取り組みは県内初。		
	10・1	県中央部の本町など3市3町1村と秋田信用金庫、運営・管理をするフューチャーベンチャーキャピタル株式会社によりあきた創業サポートファンドを設立。 国勢調査実施。インターネット回答も可能。(人口9,463人、男4,392人、女5,071人)		
	10・5	マイナンバー制度がスタート。		
	10・18	広域五城目体育館で町合併60周年記念NHKのど自慢を開催。		
	10・21	新消防庁舎が下山内に完成。		
	10・28	薬師山の秋田朝日放送五城目テレビ中継放送所が撤去。		
	11・1	武田和栄氏が副町長に再任。 町ホームページをリニューアル。		
	11・3	町制施行60周年記念式典を開催。橋本五郎さん記念講演、天地人ミニライブを行う。「60周年記念誌あゆみ」を発行 町功労者 渡邊忠陸氏(自治、福祉)、猿田由男氏(自治、産業)		
	11・6	国道285号中津又道路が完成。		
平成 28年 (2016)	1	雇用創出や地域活性化の指針となる五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略と2060年の町の人口目標を定める五城目町人口ビジョンを策定。	5・20 8・3 8・16 11・30	<秋田県> 鹿角市でクマに襲われ4人が死亡。 金田勝年衆議院議員が法務大臣に就任。 豪風旭関(北秋田市出身)に県民栄誉賞。 角館祭りのやま行事や土崎神明社の曳山行事、花輪祭の屋台行事の3つがユネスコの無形文化遺産に登録。
	2・4	県立五城目高2年生と明治大学生が連携し、15年後の未来を考えるワークショップを開催。		
	3・14	平成28年度当初予算決定。(一般会計54億7,300万円)		
	3・17	町地域防災計画を修正。		
	3・27	町議会議員選挙を執行。現職12人、新人2人の14人が当選。投票率は75・01%。		
	3・30	内川浅見内地区に、お互いさまスーパーみせっこあさみないがオープン。		


年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 28年 (2016)	4・1	国保税の税率を平成13年度以来、16年ぶりに改正。		<国内外>
	4・4	第36代議長に小林正志氏、副議長に佐藤重信氏が就任。	3・26	北海道新幹線が開業。
	4・10	朝市が日曜日と重なる日はごじょうめ朝市plus+として開催。	5・27	オバマ米大統領、現職米大統領で初の広島訪問。
	5・25	チャレンジデー2016に6,354人が参加。過去最高の参加率63・7%。	6・23	英国が国民投票でEU離脱を決定。
	7・10	第24回参議院議員通常選挙。町の投票率は64・16%。	8・21	リオデジャネイロ五輪で、日本代表選手団が過去最多41メダルを獲得。
	9・1	町のふるさと納税(ふるさと愛郷基金)制度を刷新。返礼品を拡充し、クレジットカード決済が可能に。	10・18	消費税率10%への引き上げを2017年4月から19年10月に再延期。
	10・2	第3回秋田市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!で町チームが町の部第3位入賞。		
	10・3	町住民生活課でパスポートの申請・受け取りを開始。		
	10・5	改正地方教育行政法に基づく新教育長に、畑澤政信氏が就任。		
	10・27	町総合発展計画策定諮問委員会を開催し、後期計画などを諮問する。		
	11・3	町功労者 山平秋明氏(自治、産業)、佐藤成孝氏(自治、産業)、渡邊靖彦氏(産業、自治)		
11・24	町総合発展計画策定各地区懇談会を開催。(～30日)			
平成 29年 (2017)	2	町総合発展計画後期基本計画を策定。		<秋田県>
	2・19	町長選挙を執行。第17代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。投票率は70.55%。	3・6	北朝鮮が、弾道ミサイル4発を発射し、男鹿沖に落下。
	3・1	町中央公民館が文部科学大臣表彰。	4・1	県人口は87年ぶりに100万人を割り、99万9636人。
	3・12	平成29年度当初予算決定。(一般会計51億3,700万円)		
	4・1	国民健康保険税を改正。 町の全水道事業を経営統合。 地域おこし協力隊に渡邊幸穂さんが着任。	7・22 ～23	記録的大雨で雄物川や県内の25河川が氾濫して甚大な被害。
	4・11	南秋地域公共交通活性化協議会が設置。	9・9	第30回全国健康福祉祭あきた大会「ねんりんピック秋田2017」を開催。
	5・15	地域おこし協力隊に三輪卓護さんが着任。		
	6・12	五城目小建設予定地を雀館運動公園内に決定。	12・3	サッカーのブラブリッツ秋田がJ3で初優勝。
	7・16	梅雨前線による豪雨災害が発生し大きな被害。(～22日・23日)	12・17	バドミントンスーパーシリーズ女子ダブルスで米元小春、田中志穂組(北都銀行)が初優勝。
	7・21	新たに選任された町農業委員の初総会を開催。		
	8・1	子育て支援センターこどもの木を開設。		
	8・24	豪雨災害による大きな被害が発生。(～25日)		
	9・2	五城目一中創立70周年記念五中祭を開催(11月2日、海上自衛隊大湊音楽隊記念演奏会。11月11日、元祖爆笑王の記念講演)	1・20	ドナルド・トランプが米第45代大統領に就任、共和党政権が発足。
	10・22	衆議院議員総選挙を執行。町の投票率(小選挙区)は60.63%。	5・9	韓国大統領罷免、文在寅政権発足。
	10・30	橋本芳子さんから木彫像「希ねがい(文化功労者・橋本堅太郎さん作)」の寄贈を受け除幕。	7・7	国連、核禁止条約を122か国・地域の賛成多数により採択。
	11・1	広報ごじょうめ1000号を発行。	9・9	陸上男子・桐生祥秀が日本選手初の100m 9秒台を達成。
	11・3	町功労者 佐々木憲夫氏(高齢者福祉)	10・23	衆院選で自民大勝、民進が分裂。
	11・20	本町が総務大臣表彰。		
11・26	久保で火災。3人が亡くなり、住宅200平方mが全焼などの被害。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
平成 30年 (2018)	1・28	町体育協会創立60周年記念式典を開催。		<秋田県>
	2・17	一般社団法人日本自動車連盟(JAF)秋田支部と本町が「観光振興に関わる協定」を締結。	8・21	金足農高が甲子園で準優勝。県勢103年ぶりの偉業。
	3・12	平成30年度当初予算決定。(一般会計52億1,100万円)	11・29	来訪神行事「男鹿のナマハゲ」がユネスコ無形文化遺産登録。
	4・1	町クリーンセンターを廃止し、本町のし尿や浄化槽汚泥の処理を八郎潟町・井川町衛生処理施設組合の湖水苑へ委託。	5・31	県民会館は令和3年度末に完成予定の文化施設建設のため閉館。
	4・7	道の駅悠紀の国五城目がリニューアルオープン		<国内外>
	5・18	記録的大雨により町内全域で被害が発生。18日の町内の24時間降水量は150.5㍓、10分間の最大降水量は9.5㍓、1時間の最大降水量は36㍓となり、それぞれ5月の値として観測史上最大。	2・25	平昌五輪で日本代表選手団が最多メダルを獲得。
	5・30	チャレンジデー2018が開催。本町は8,180人が参加し、過去最高の参加率(85.9%)を記録。	6・12	米朝が史上初の首脳会談。
	8・6	テレンス・ジェームズ・サンチェズさんが町の外国語指導助手(ALT)に就任。	7・6	オウム松本元死刑囚らの刑執行。
	9・16	初となる消防フェアを開催。子どもたちが消防士の活動を体験。	11・19	日産ゴーン会長を逮捕。
	9・30	ラッパーの羅漢さんが町観光物産RR大使に就任。 3年ぶり9回目の高性寺ジャズインプレッションが朝市ふれあい館で開催。	12・30	米国抜きTPP11が発効。
	10・1	町循環型コミュニティバスきゃどっこ号の試験運行が開始。運行を前に五城目バスターミナルで出発式を開催。(運行は翌年6月30日まで)		
	10・26	県道秋田八郎潟線町村バイパスが開通。		
	11・1	五城目森林組合設立60周年記念式典が開催。		
	11・3	町功労者 一関籙一氏(民生、自治)		
12・18	町の地方創生の取り組みが国から優良事例として認められ丑田香澄さんが首相官邸で事例発表を行う。			
平成 31年 (2019)	2・17	冬の朝市あったか鍋まつりに1万人が来場。		<秋田県>
	3・12	平成31年度当初予算決定。(一般会計56億5,100万円)	1・22	元関脇豪風(北秋田市出身)が現役引退。
	4・1	防災行政無線の本格運用を開始。 子育てクーポンの支給を開始。 町役場庁舎敷地内の禁煙を実施。		
	4・7	県議会議員選挙を執行。南秋田郡選挙区で鈴木真実さんが初当選。		
	4・20	7年ぶりとなるさくらまつりを雀館公園で開催。羅漢さん、ミスター北さんが出演。		
令和 元年 (2019)	5・1	元号が「平成」から「令和」へ改元。		<秋田県>
	6・17	五城目一中野球部が男鹿市潟上市南秋田郡中学校総合体育大会で優勝し、31年ぶりとなる全県出場を決める。	6・4	イーゴスアショア適地調査報告書にずさんなデータ記載。
	6・30	町消防団の再編後初となる町消防訓練大会を実施。小型ポンプ操法、規律訓練の部の両方で第10・11分団(浅見内、黒土、湯ノ又、小倉)が優勝。	6・12	吉田輝星投手(日本ハム)がプロ初先発・初勝利。
	7・1	予約式乗合タクシーまちなか線の試験運行が開始(12月31日で終了)。	8・25	ナガマツペア(北都銀行)、日本勢初のバドミントン世界選手権世界V2を達成。

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和 元年 (2019)	7・29	第46回日独スポーツ少年団同時交流が本町で行われ、ドイツのシュレスヴィヒ=ホルシュタイン州からの派遣団9人が交流。(～8月2日)	9・7	天皇皇后両陛下が全国豊かな海づくり大会へのご臨席のためご来県。
	8・6	五城目小新校舎の工事に着手。	11・3	元東大学長の佐々木毅氏(美郷町出身)に文化勲章。
	8・15	気温が本町の観測史上最高となる38.1度を記録。 きゃどっこまつり2019が開催。		<国内外>
	9・6	千代田区との姉妹提携30周年記念式典を開催。	3・21	日米通算4367安打のイチローが引退。
	9・27	五城目小新校舎の改築工事安全祈願祭が実施。	5・1	天皇陛下が即位。「令和」に改元。
	10・1	五城目町、八郎潟町、大潟村の3町村間を結ぶ南秋地域広域マイタウンバスの運行が開始。	6・30	米大統領、初の北朝鮮入り。正恩氏と板門店で首脳会談。
	10・9	最新の高度救命処置用資器材を搭載した町消防本部の高規格救急車の運用を開始。	9・20	ラグビーW杯日本大会アジア初開催、日本8強入り。
	10・13	当町が防衛大臣から防衛協力功勞の感謝状の贈呈を受ける。台風19号に伴い、町消防本部緊急援助隊7人を宮城県丸森町に派遣し、救助活動などを実施。(～16日)	10・1	消費税10%に、食料品などに軽減税率導入。
	11・3	町功勞者 佐藤一義氏(教育)	10・9	ノーベル科学賞に吉野彰氏。
	11・6	登下校の見守りや防災訓練への参加など内容を拡充し、秋田中央、五城目、内川の3郵便局と包括的連携協定を再締結。	11・23	ローマ教皇が38年ぶり来日。核兵器の廃絶を訴える。
	11・10	町芸術文化協会創立50周年記念式典を開催。		
	11・30	湯ノ又、浅見内、黒土、小倉の内川地区の4町内がイルミネーションの点灯式を開催。		
	令和 2年 (2020)	1・14	本町で建設ICT研修に取り組むICT東北推進協議会が国土交通省i-Construction大賞地方公共団体等の部門で優秀賞を受賞。	3
2・7		第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のためのワークショップを開催。	4・14	県人口減少率1.48%で7年連続で全国最高。県の人口は96万6千人。
3・9		令和2年度当初予算決定。(一般会計67億4,500万円)	6・24	秋田市新屋地区へのイージス・アショアの配備計画撤回を国家安全保障会議で決定。
3・29		町議会議員選挙を執行。現職11人、新人3人の14人が当選。投票率は70.12%。	9・16	菅義偉氏が内閣総理大臣に指名。秋田県出身者で初。
4・1		森山地区・大川地区・八郎潟町を対象とする乗合タクシーの試験運行を開始。 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタート。	11・18	サッカーJ3のブラウブリッツ秋田が3年ぶり2度目のリーグ優勝を果たし、J2昇格を決める。
4・3		第37代議長に石川交三氏、副議長に伊藤正春氏が就任。	11・20	横手市出身の漫画家矢口高雄さんが死去。
4・8		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。		<国内外>
4・16		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国に緊急事態宣言が発令。	3・11	世界保健機構(WHO)が、新型コロナウイルスの流行を「パンデミック」と表明。
5・14		新型コロナウイルス感染症対策に伴う子育て世帯の負担軽減を図るため、町独自の臨時子育て世帯応援給付金を支給。	3・24	東京五輪・パラリンピックの1年延長が決定。
5・16		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町独自で町民に2枚ずつマスクを支給。	4・16	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全都道府県に緊急事態を宣言。
5・20		新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として、町民に一律10万円を給付する特別定額給付金の給付を開始。		
6・1		地域おこし協力隊に張梨香さんが着任。集落支援員に伊藤信子さんが着任。		
6・18		県石油商業組合南秋支部と本町が災害時の石油類燃料供給の協定を締結。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和2年 (2020)	8・1	全町民にオール五城目応援商品券を支給。学生等応援給付金事業を開始。	9・16	安倍内閣が総辞職、歴代最長の在職期間3188日で終止符。
	10・1	国勢調査を実施。(人口8,538人、世帯数3,351世帯)	11・8	アメリカ大統領選でバイデン氏がトランプ氏に勝利。
	11・2	町功労者 大石壽信氏(民生、自治)		
	11・20	五城目小旧校舎で、イルミネーションの点灯式と「52年間ありがとう花火」の打ち上げが実施。		
	12・1	町役場1階に、町子育て世代包括支援センター「すぎのこてらす」を開設。		
	12・10	町内の世帯へ灯油引換券を支給。		
	12・15	ケリー・ジョアン・モルゴンさんが英語指導助手(ALT)に就任。		
令和3年 (2021)	1・14	五城目小新校舎での学校生活スタート。		<秋田県>
	2・16	町村町内の古民家を会員制の宿泊交流施設として運営する「シェアビレッジ・プロジェクト」が、令和2年度ふるさとづくり大賞で総務大臣表彰を受ける。	1	県内内陸部南部を中心に記録的な大雪。
	2・21	町長選挙を執行。第18代町長に渡邊彦兵衛氏が当選。投票率は69.58%。	4・4	佐竹敬久氏が県知事選で4選。
	3・1	広報ごじょうめに掲載の「なつかしのごじょうめのわらしだ」が、連載300回を迎える。	7・27	鹿角市の大湯環状列石や北秋田市の伊勢堂岱遺跡など17遺跡で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」が文化遺産に登録。
	3・15	令和3年度当初予算決定。(一般会計56億8,000万円)		<国内外>
	4・1	五城目小新校舎に併設の地域図書室「わーくる」をオープン。	1・20	民主党のバイデン氏がアメリカ新大統領に。
		森山地区・大川地区・八郎潟町を対象とする「広域デマンド型乗合タクシー」の本格運行を開始。	3・11	東日本大震災発生から10年。
	5・8	町民センターで、町民向けの新型コロナウイルスワクチン集団接種を開始。	4・12	男子ゴルフの松山英樹さんが日本男子初となる、マスターズ優勝。
	6・14	全町民に「オール五城目生活応援商品券」を発行。	7・3	静岡県熱海市で大規模な土石流が発生。27人が死亡・行方不明に。
	7・12	浦横町大堰西地内で館ノ下遺跡の本発掘調査を開始。縄文時代の石器や平安時代の焼き物などが出土。	7・23	東京五輪・パラリンピックが無観客開催。(～8月8日)
	8・15	東京2020パラリンピック採火式を、雀館運動公園相撲場で実施。	10・4	菅義偉内閣が総辞職し、岸田文雄政権が発足。
	8・31	交通安全功労者として、本町が内閣府特命担当大臣交通対策本部長表彰を受ける。	11・13	将棋の藤井聡太さんが竜王位を獲得し、最年少で四冠となる。
	11・2	町功労者 本間信義氏(自治)、藤井好春氏(民生)	11・18	二刀流で活躍したエンゼルスの大谷翔平選手がア・リーグ最優秀選手(MVP)に選出。
	11・20	平成21年に公開の映画「釣りキチ三平」の撮影地となった馬場目北ノ又の「三平の家」が閉館。14年の歴史に幕。 五城目小新校舎でイルミネーションの点灯式が行われ、五小イルミネーション実行委員会の皆さんが花火の打ち上げを実施。		
令和4年 (2022)	3・15	令和4年度当初予算決定。(一般会計55億5,700万円)		<秋田県>
	3・24	「農事組合法人杉沢ファーミング」が、「令和3年度農業農村整備優良地区コンクール」の中山間地域等振興部門で農林水産省農村振興局長賞を受賞。	8	県内各地で記録的大雨。3日には気象庁が県内初となる「顕著な大雨情報」を発表。
	4・1	今後10年間のまちづくりの指針となる、新たな「町総合発展計画」がスタート。 持続可能な地域公共交通を構築する、「町地域公共交通計画」がスタート。 千代田区と本町が脱炭素社会実現に向けた連携協定を締結。	9・23	あきた芸術劇場ミルハスがオープン。
		10・29	新品種米「サキホコレ」が市場デビュー。	

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和4年 (2022)	4・21	秋田中央交通株式会社が開業100周年を迎える。	11・30	羽後町の「西馬音内の盆踊」や鹿角市の「毛馬内の盆踊」を含む「風流踊」が無形文化遺産に登録。 ＜国内外＞ 2・24 ロシアがウクライナに侵攻。 3・4 北京冬季五輪・パラリンピックが開催。(～13日) 4・1 改正民法が施行され、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられる。 4・10 千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希投手が完全試合と13連続奪三振を達成。 7・8 安倍晋三元首相が奈良県奈良市で銃撃され死亡。 8・10 エンゼルスの大谷翔平選手がペーブ・ルース以来、104年ぶりの2桁勝利・2桁本塁打を達成。 8・19 新型コロナウイルス感染症の流行が第7波を迎え、1日当たりの感染者が26万人を超える。 9・8 イギリスのエリザベス女王が96歳で死去。 10・3 東京ヤクルトスワローズの村上宗隆選手が史上最年少で三冠王を獲得。
	4・22	杉沢交流センター友愛館内に、「映画『釣りキチ三平』メモリアルルーム」がオープン。		
				
		『釣りキチ三平』メモリアルルームがオープン！		
	7・1	広報ごじょうめの紙面をリニューアル。		
	8	9日から降り続く雨により、内川川、富津内川の2河川が氾濫。湯ノ又町内を中心に住宅・小屋の床上、床下浸水や道路の冠水、土砂崩れが発生するなど、町内各地で甚大な被害。12日午後10時からの1時間降水量は、観測史上最大となる65・5㍉を記録。		
	8・15	初となる「二十歳のつどい」を五城目小で開催。		
	8・23	ゾーイ・フェルさんが新しい外国語指導助手(ALT)に就任。		
	10・2	3年ぶりとなる「秋田追分全国大会」が五城館で開催。		
	10・8	全県おはよう野球大会で、小政倶楽部が初優勝。		
	10・14	だれでも通える「みんなの学校」が開講。		
	10・15	五城目高校の創立80周年記念式典が開催。		
	10・22	3年ぶりとなる、秋の朝市「きのこまつり」が開催。		
	11・2	町功労者 千田峯夫氏(自治)、嶋崎幸喜氏(民生、農業)		
	11・18	「第39回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」へ、町内から9つの事業所等が出展。(～20日)		
	11・25	もりやまこども園本園・大川分園を運営する「社会福祉法人キッズハウスもりやま」の創立50周年記念式典が開催。		
	令和5年 (2023)	2・1		
3・14		令和5年度当初予算決定。(一般会計57億5,600万円)		
4・4		町消防団長に千葉與右エ門さんが就任。		
5・7		春の朝市「山菜まつり」が4年ぶりに開催。		
5・20		五城目神明社神楽殿で4年ぶり51回目となる番楽競演会を開催。		
7		14日午後から断続的に降り続いた雨により町内の河川が氾濫。各地で大規模な浸水被害が発生し、16日から23日にかけては一部地域を除き全町的な断水に見舞われるなど未曾有の被害。14日から15日の総雨量は151・5㍉を観測。		
8・5		羽城・五城目一中が東北中学校野球大会で8強入り。		

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和5年 (2023)	8・15	大雨災害に際し、姉妹都市の東京都千代田区の樋口高顕区長が来町。	10・15	大仙市出身の鈴木優花選手がパリ五輪女子マラソンの日本代表に決定。
	9・2	森山における定期登山や環境整備などの活動が認められ、「もっと森山をもりあげ隊」が環境大賞(秋田県知事賞)を受賞。	11・1	秋田市の人口が29万9,911人となり、33年ぶりに30万人を下回る。
	10・1	広域五城目体育館で、4年ぶりに入場制限を設けずに「秋田追分全国大会」が開催。 	2・6	トルコ・シリア地震(M7.8)。
			3・22	ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本代表が3度目の優勝。
			5	世界保健機関(WHO)が新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の終了を発表。日本政府は感染症法上の位置づけを「5類」に引き下げる。
			5・19	広島でG7サミット開催。(～21日)
	10・8	国際協力機構(JICA)海外協力隊候補生の、東谷拓馬さんと平石守さんが本町で活動を開始。	10・11	将棋の藤井聡太さんが王座を奪取し史上初の八冠独占。
	10・15	雀館運動公園で、4年ぶりに「きゃどっこまつり」が開催。	11・16	44本の本塁打を放ち本塁打王に輝いたエンゼルスの大谷翔平選手がア・リーグの最優秀選手(MVP)に。
	10・28	広域五城目体育館で、4年ぶりに「町産業文化祭」を開催。		
	10・29	交通死亡事故抑止継続4,000日達成。		
	11・1	新副町長に澤田石清樹氏が就任。		
	11・2	町功労者 加藤光儀氏(民生、農業)、小玉多智美氏(民生)		
	11・17	町役場正庁で五城目一中が「子ども議会」を開催。		
	11・18	地域活性化支援センターの開設10周年事業を開催。		
	令和6年 (2024)	1・11	地域図書室「わーくる」の利用者2万人達成。	
2・29		大規模な災害の発生に備え「防災備蓄倉庫」が完成。	5	鹿角市でクマ被害。11月にはクマが秋田市のスーパーに侵入する被害も発生。
3・5		令和6年度当初予算決定。(一般会計62億3,700万円)		
3・24		町議会議員選挙を執行。現職9人、新人5人当選。投票率は67.22%。	7	下旬に記録的な大雨に見舞われる。住家浸水や土砂災害などが発生。
4・1		地域課題解決策の検討などを行う集落支援員に4名が就任。	7・1	県の人口が89万9,314人に。80万人台は104年ぶり。
5・6		国際協力機構(JICA)海外協力隊候補生の青木舞さん・石原優人さん・知念萌花さん・山本涼仁さんが本町で活動を開始。	10・24	パリ五輪のバドミントン女子ダブルスで銅メダルを獲得した「シダマツペア」の志田千陽選手(八郎潟町出身)に県民栄誉賞が授与。
5・9		地域おこし協力隊に鹿内和朗さんが着任。		<国内外>
5・13		小玉重博さんのほ場で「サキホコレ」田植えイベント開催。	1・1	石川県能登地方を震源とする地震が発生。(M7.6)石川・新潟・富山3県で多数の死者と住家被害。
7・29		マシェイラ・レモンズさんが新たに外国語指導助手(ALT)に就任。		
8		企業版ふるさと納税制度を開始。 ウッドロードで、5年ぶりに「全町盆踊り大会」を開催。		
10・1	橋本尚志さんが、町のデジタルトランスフォーメーション推進を図る「デジタル専門監」に着任。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和 6年 (2024)	10・11	国際協力機構(JICA)と、海外協力隊派遣前研修に関する連携協定を締結。JICA海外協力隊候補生の伊豫谷香南子さん・作間温子さん・藤村悦史さん・道原将斗さんを地域おこし協力隊インターンに委嘱。  地域おこし協力隊インターンに委嘱されたJICA海外協力隊候補生の皆さん。	7・14	トランプ氏、アメリカペンシルベニア州での選挙集会中に銃撃を受ける。
			7・27	パリ五輪・パラリンピック開催。秋田県出身の選手が活躍(～8月12日)
			10・1	岸田文雄内閣が総辞職。石破茂政権が発足。
			11・6	アメリカ大統領選でトランプ氏がハリス氏に圧勝。
			11・22	前人未到の50本塁打・50盗塁を達成したドジャースの大谷翔平選手が、ナ・リーグの最優秀選手(MVP)に選出。
	11・5	町功労者 北嶋悦子氏(民生、福祉)		
	11・10	朝市ふれあい館と五城館で「産業文化祭」を開催。		
	11・17	矢田津世子没後80年事業として、町民センターで「ふるさと作文コンクール表彰式」「短編映画上映会」を開催。		
	11・25	五城目小創立150周年記念式典が開催。		
	12・14	大川保育園創立50周年記念式典が開催。		
令和 7年 (2025)	1・27	もっと森山をもりあげ隊が「元気なふるさと秋田づくり地域活動表彰」を受賞。		<秋田県>
	2・1	馬場目線・内川線・富津内線3路線を運行する乗合タクシーで五城目地区の住民も利用可能に。	2・21	県内北部を中心に記録的な大雪。北秋田市鷹巣では、積雪深が統計開始の1979年以降最大を更新。
	2・16	町長選挙を執行。第19代町長に荒川滋氏が当選。投票率は71.55%。	4・6	秋田県知事選挙が執行。新人の鈴木健太氏が初当選。
	2・26	岩手県大船渡市で発生した林野火災に際し、本町の消防本部職員24名を「緊急消防援助隊秋田県大隊」へ派遣。(～3月16日)	4・13	<国内外> 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)が開催。(～10月13日(予定))
	3	矢田津世子没後80事業として制作された遺稿集「みぞれ」と「賢いめだかの兄弟」の絵本・紙芝居が完成。	6・15	カナダでG7サミットが開幕。(～17日)
	3・1	清野悠太さんが全国建築板金競技大会で3位。(～2日)		
	3・18	令和7年度当初予算決定。(一般会計59億6,100万円)		
	4・1	地域課題解決策の検討などを行う集落支援員に、有限会社ジュディから4名、浅見内活性化委員会から9名の計13名が着任。		
	4・14	橋本尚志さん・西山直輝さん・若尾波月さんの3名が、町のデジタルトランスフォーメーション推進を図る「デジタル専門監」に着任。		
	5・17	朝市ふれあい館で53回目となる番楽競演会を開催。		
6・2	加藤央さんを、朝市出店者からの意見収集や新たな出店者の掘り起こしなどを行う「朝市活性化支援員」に委嘱。			

年	月日	五城目のできごと	月日	秋田県・国内外のできごと
令和 7年 (2025)	6・20	国際協力機構(JICA)海外協力隊候補生の、横谷怜奈さん・齊藤萌々子さん・中川宙蘭さんを地域おこし協力隊インターンに委嘱。		
	7・26	千代田区・五城目町少年野球交流会が本町で開催。(～27日)		
				
		千代田区との少年野球交流会を6年ぶりに本町で実施。		
	8・4	本町産ラズベリーを使用したチューイングキャンディー「かむかむラズベリーソーダ」が全国で販売開始。		
	8	6～9日、15日、20～21日の3度にわたり激しい雨に見舞われ被害が発生。15日午前0時6分からの1時間雨量は観測史上1位の78.5 ^{mm} を記録。		
	8・16	コロナ禍のため中止となった「令和3年度二十歳のつどい」の対象者が、町民センターで「二十五歳のつどい」を開催。		
	9・2	午前から激しい雨に見舞われ、町内の河川が氾濫し各地で浸水被害が発生。五城目観測所(森山地区)での24時間降水量は153 ^{mm} を記録。(～3日)		
	10・5	教育長に小玉史男氏が就任。		
	10・7	町制施行70周年記念式典を開催。 町功労者 渡邊彦兵衛氏(自治)、小林正志氏(自治)		